

登録数—部位別 <2022年>

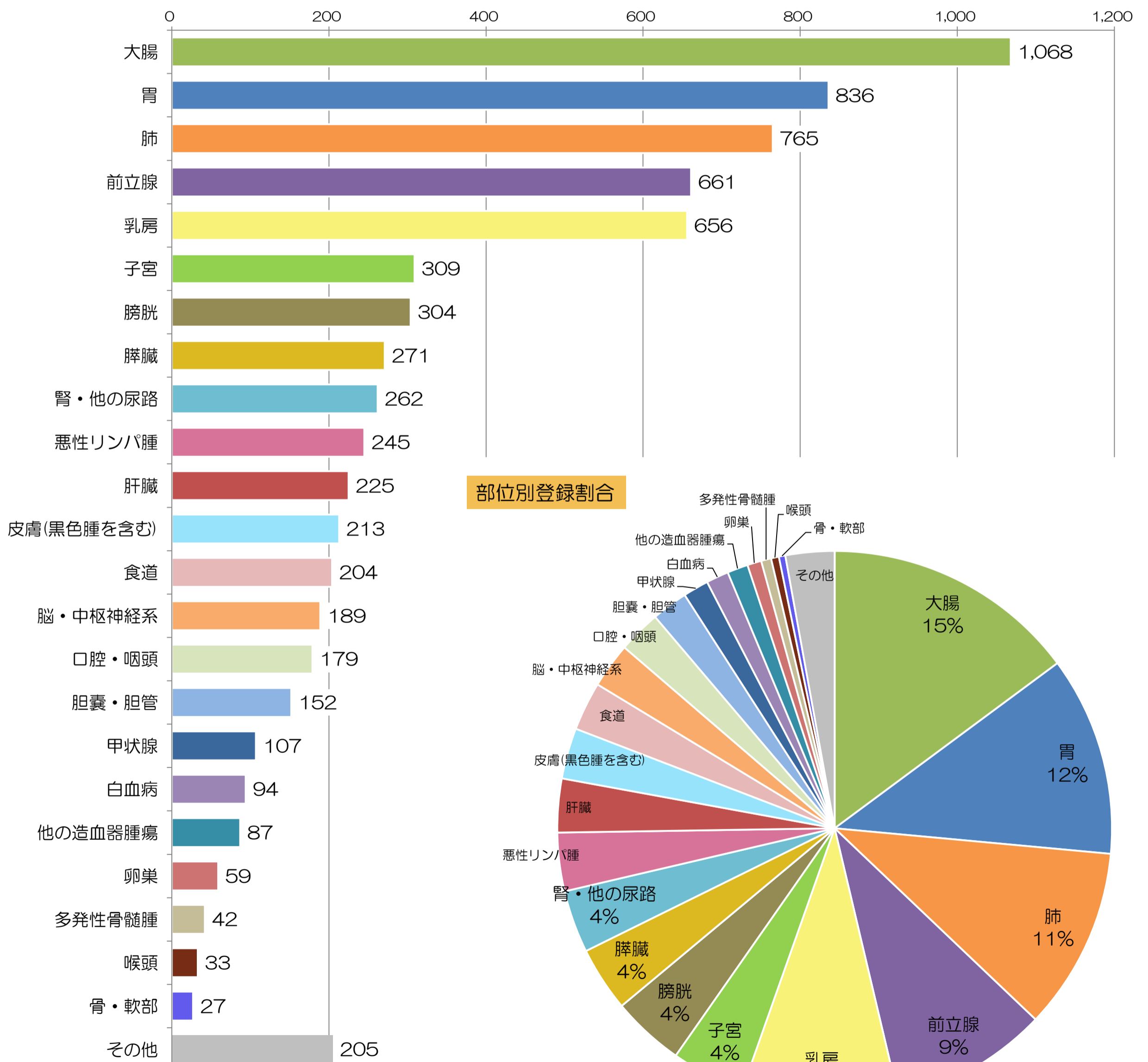
登録数は、男性は4,154件、女性は3,039件で合計は7,193件となる。

部位別には、男性では、前立腺が最も多く661件、次いで、大腸が639件、胃が571件、肺が527件、膀胱241件。女性では、乳房が最も多く650件、次いで大腸が429件、子宮が309件、胃が265件、肺が238件の順となる。

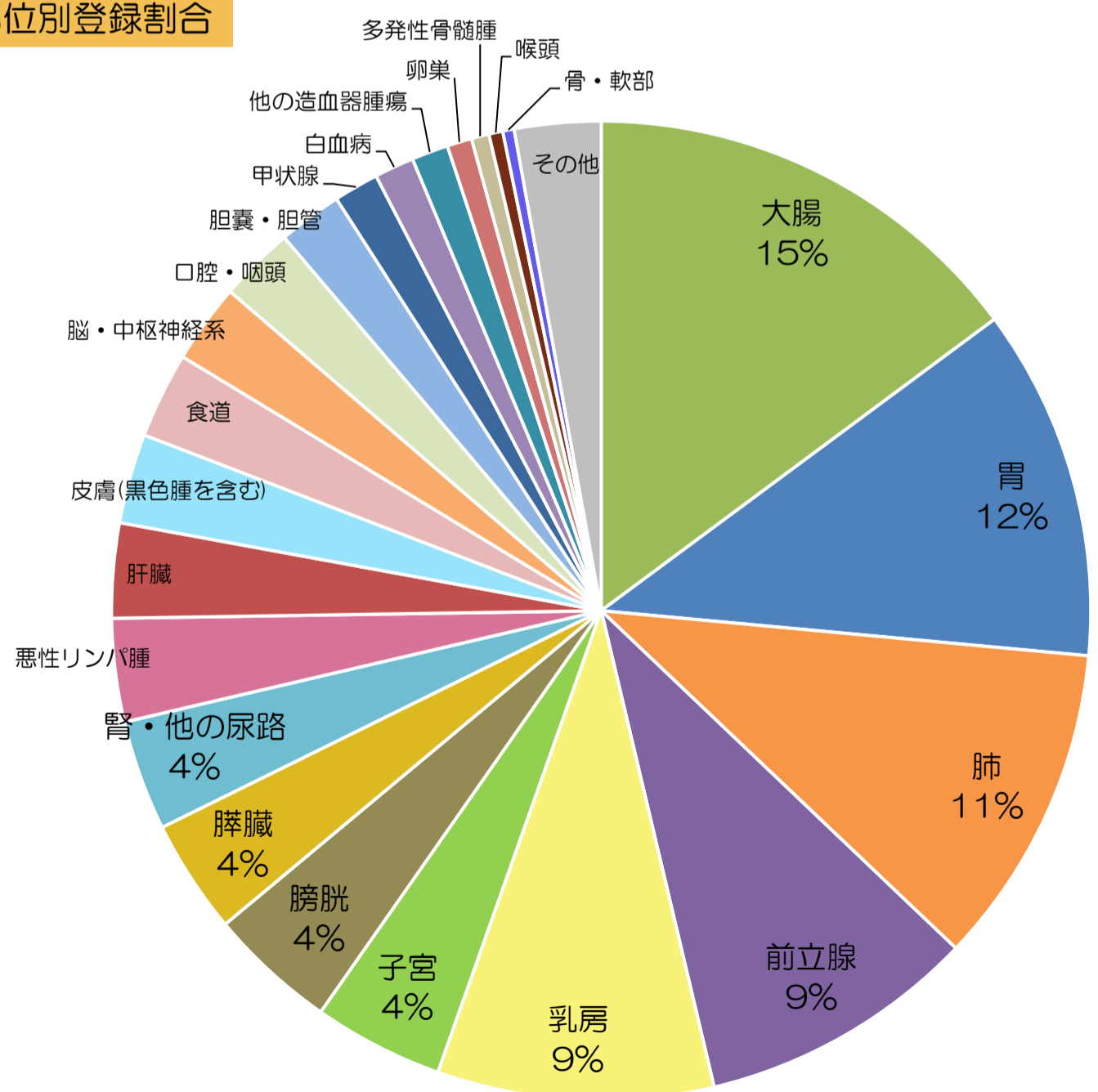
男女別割合は、男性が58%、女性が42%で、皮膚（黒色腫を含む）、脳・中枢神経系、甲状腺以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく4.3倍、次いで膀胱が3.8倍、口腔・咽頭が3.5倍、肝臓が2.9倍、肺、胃などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	140	166	571	639	168	89	154	31	527	16	98	(4-6)	-	-	661	241	174	74	29	134	28	53	55	100	4,154
女性	39	38	265	429	57	63	117	(1-3)	238	11	115	650	309	59	-	63	88	115	78	111	14	41	32	105	3,039
合計	179	204	836	1,068	225	152	271	33	765	27	213	656	309	59	661	304	262	189	107	245	42	94	87	205	7,193

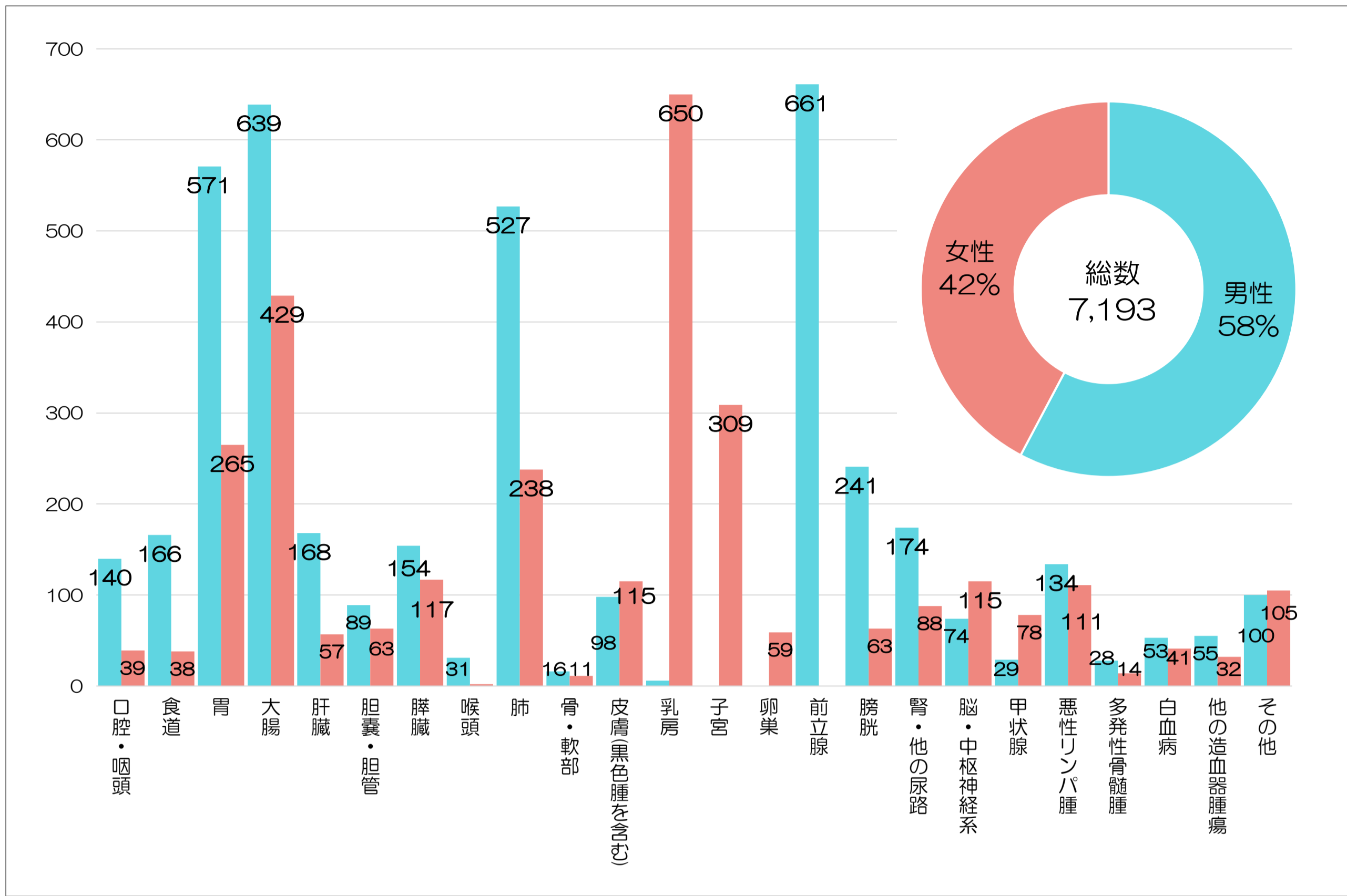
部位別登録数



部位別登録割合

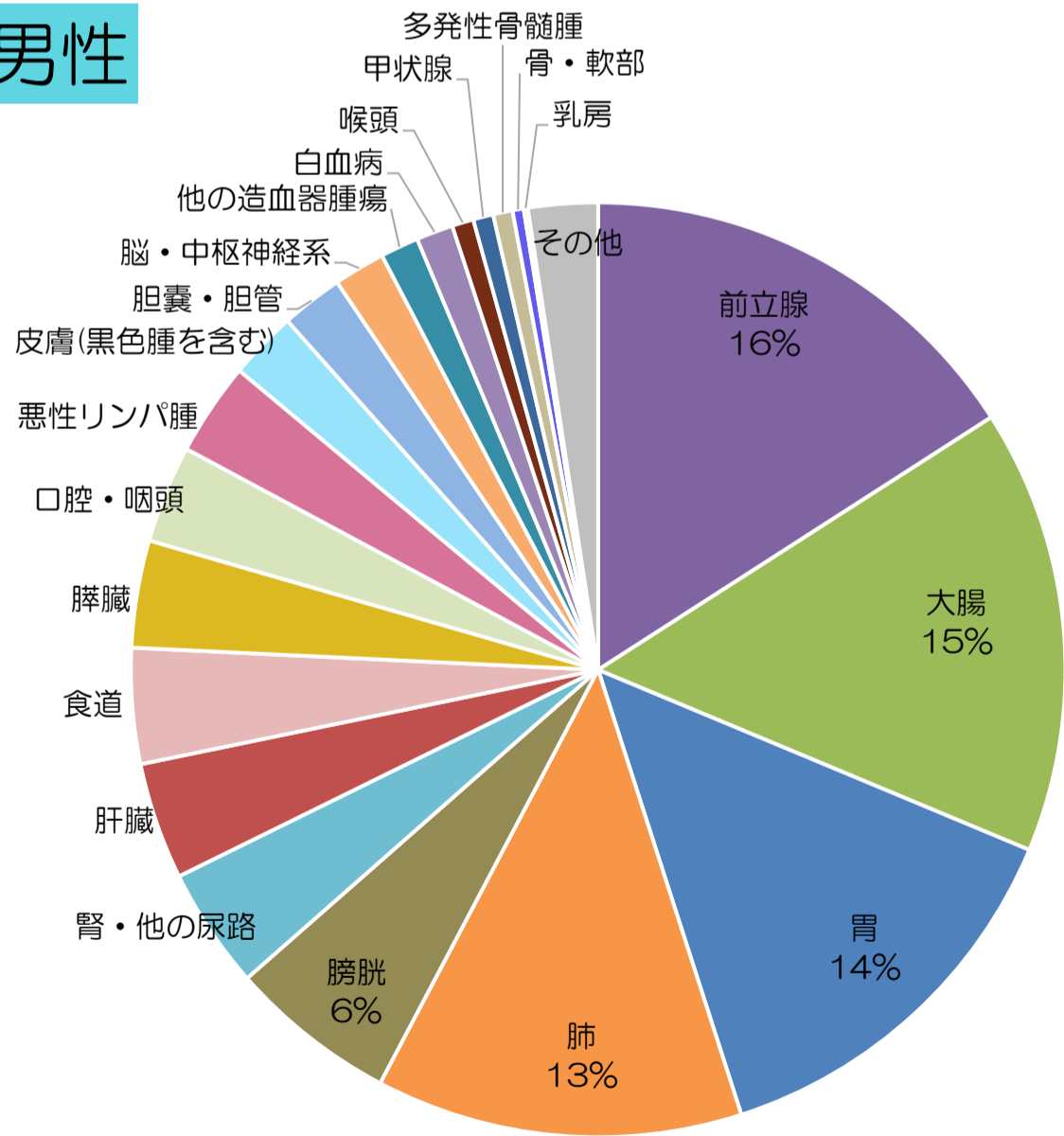


登録数一部位別【男女別】〈2022年〉

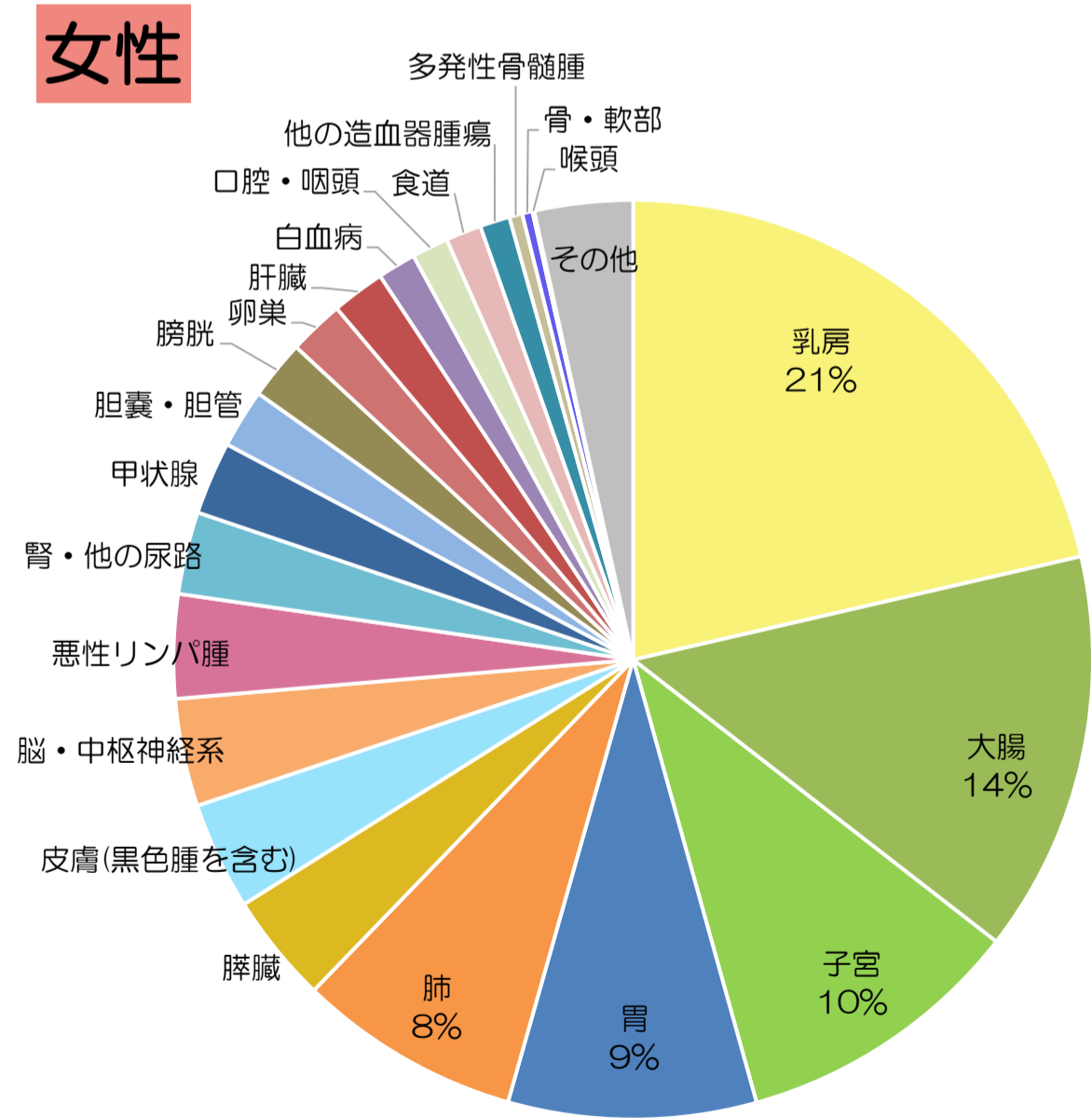


部位別登録割合【男女別】〈2022年〉

男性



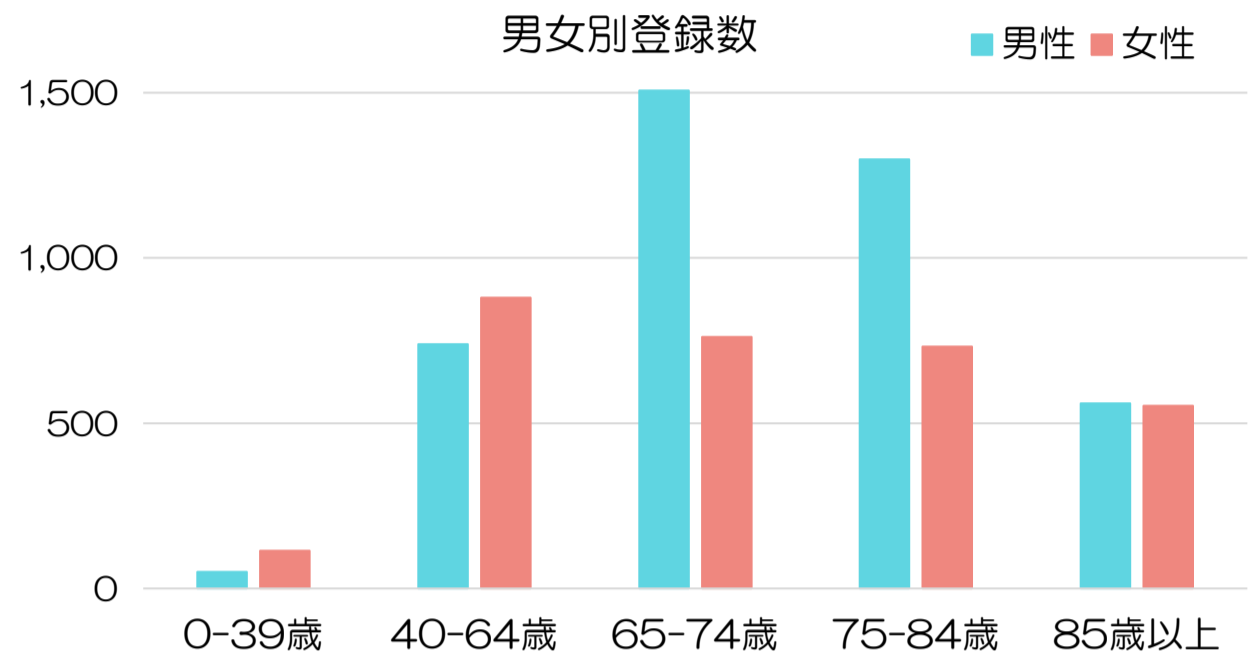
女性



登録数—年齢階級別【男女別】〈2022年〉

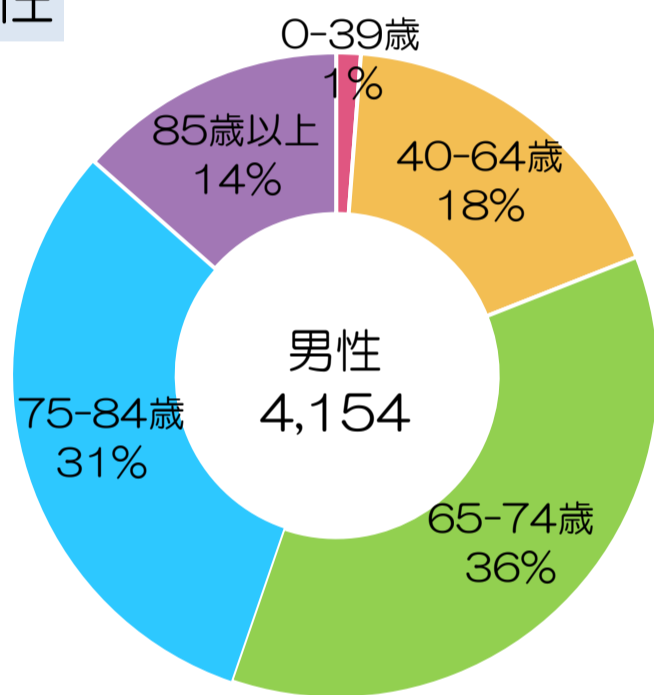
年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性で81%、女性では67%を占め、男性が14%も多い。部位別には、0-39歳の男性では、多い順に大腸、脳・中枢神経系など、女性では、子宮、乳房。40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮。65-74歳の男性では、前立腺、大腸、女性では、乳房、大腸。75-84歳の男性では、前立腺、肺、胃、女性では、大腸、乳房、肺。85歳以上では、男性は胃、前立腺、大腸、女性は大腸、胃である。

年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	51	115	166
40-64歳	739	879	1,618
65-74歳	1,506	761	2,267
75-84歳	1,298	731	2,029
85歳以上	560	553	1,113
合計	4,154	3,039	7,193

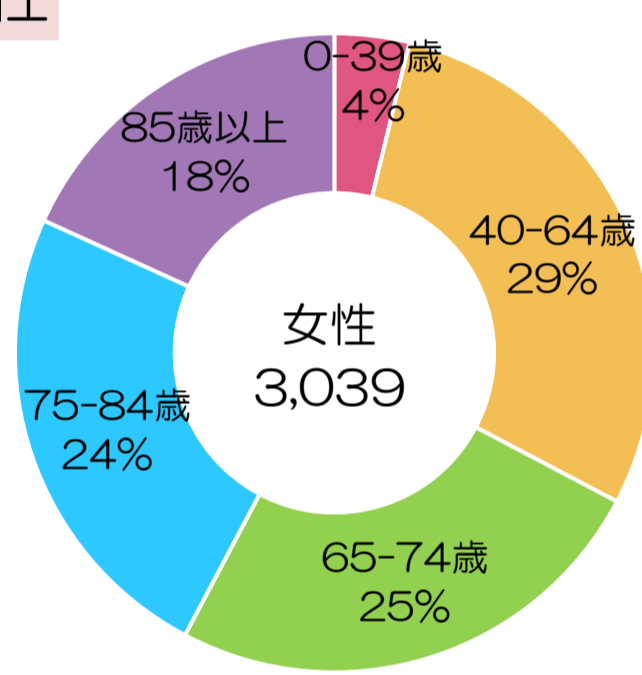


年齢階級別登録割合

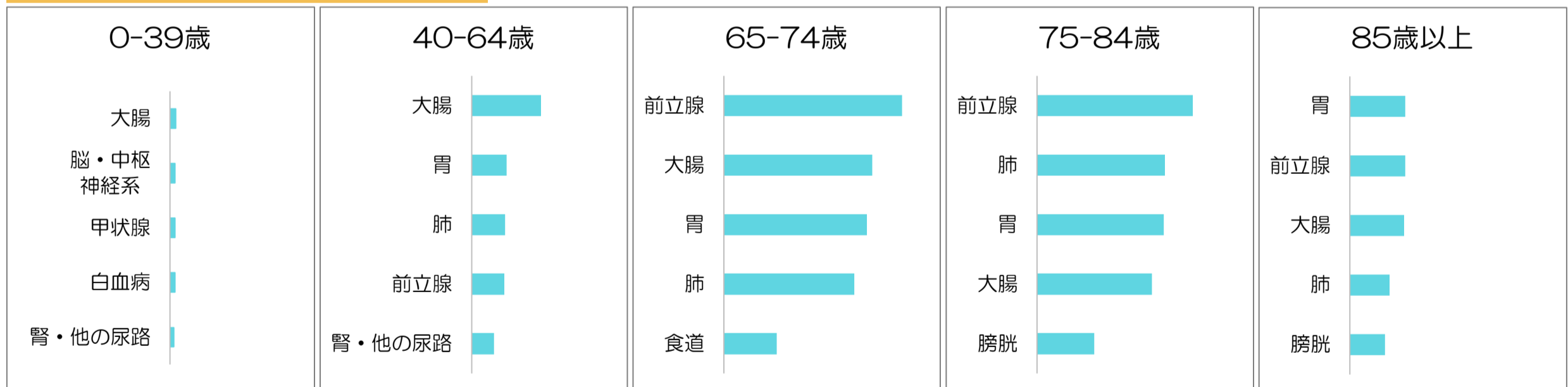
男性



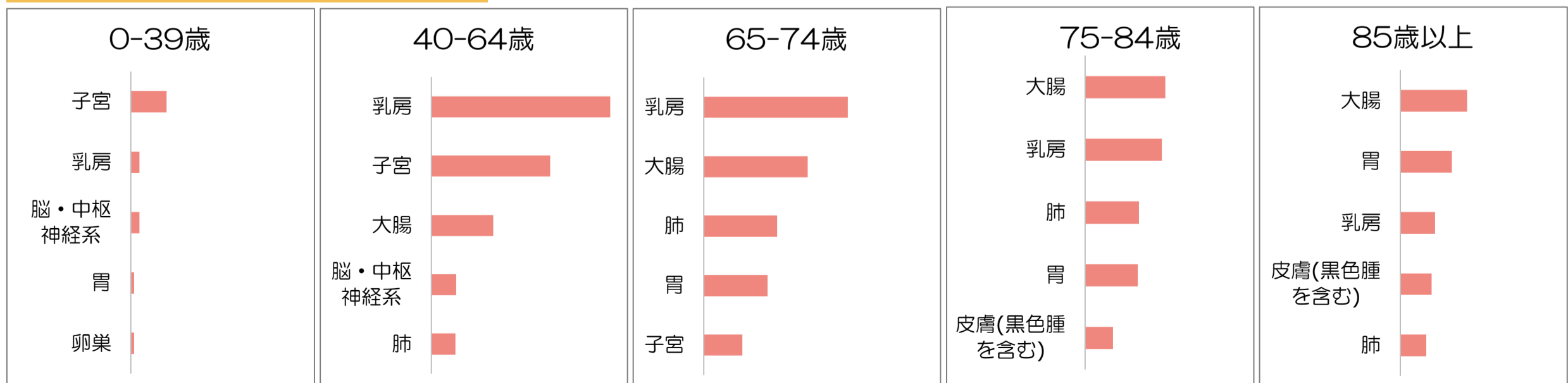
女性



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



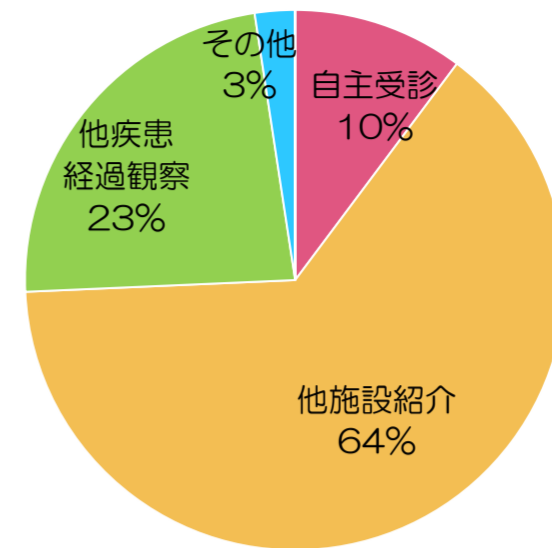
年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2022年>

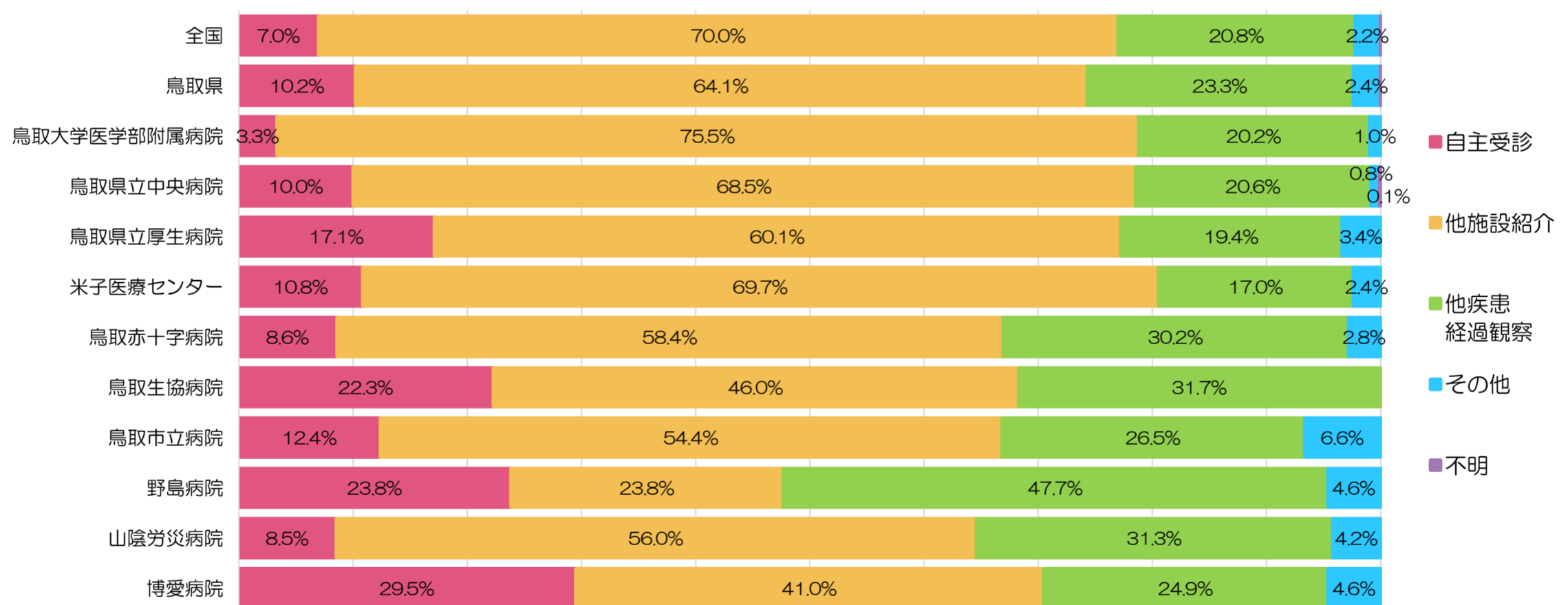
来院経路別には、鳥取県全体で「他施設紹介」が64.1%を占めて最も多く、次いで「他疾患経過観察」が23.3%、「自主受診」は10.2%と少ない。
 全国比較では、「自主受診」は全国より多く、「他施設紹介」は全国より少なく、「他疾患経過観察中」は全国より多い。
 施設別には、「自主受診」は鳥取生協病院、博愛病院、野島病院で多く、「他施設紹介」は鳥取大学医学部附属病院、米子医療センター、鳥取県立中央病院で多い。
 部位別には、「自主受診」は乳房が最も多く、「他施設紹介」は子宮体部が最も多く、次いで前立腺が多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

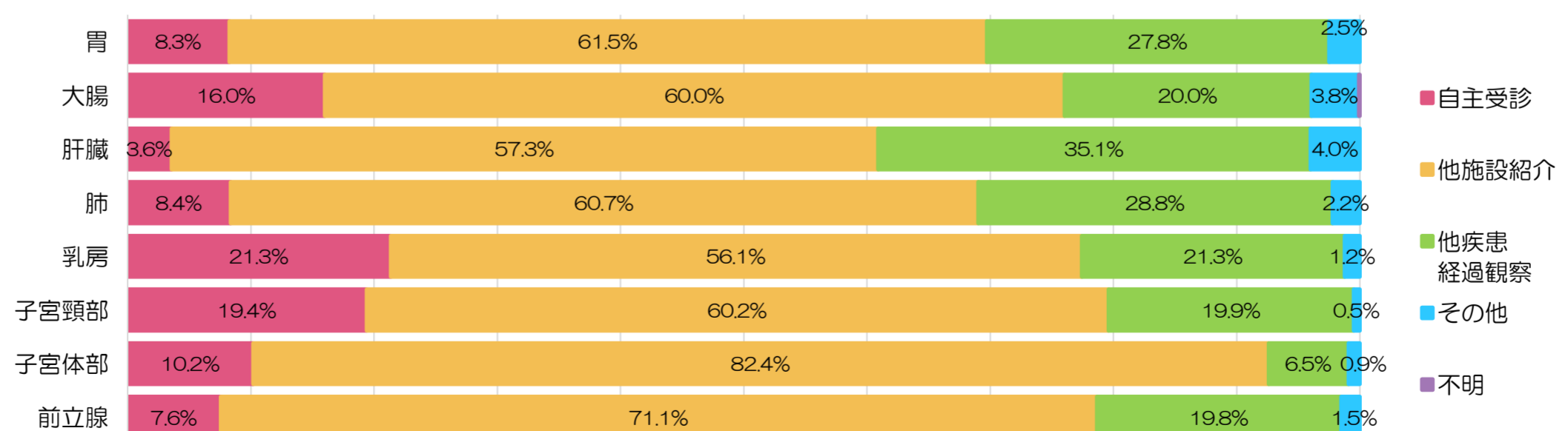


	自主受診	他施設紹介	他疾患経過観察	その他	不明	合計
全国	75,179	752,222	222,900	23,585	232	1,074,118
鳥取県	735	4,610	1,675	172	(1-3)	7,193
鳥取大学医学部附属病院	70	1,581	424	20	-	2,095
鳥取県立中央病院	116	793	238	(7-9)	(1-3)	1,157
鳥取県立厚生病院	122	428	138	24	-	712
米子医療センター	77	495	121	17	-	710
鳥取赤十字病院	70	475	246	23	-	814
鳥取生協病院	45	93	64	-	-	202
鳥取市立病院	73	320	156	39	-	588
野島病院	31	31	62	(4-6)	-	130
山陰労災病院	41	269	150	20	-	480
博愛病院	90	125	76	14	-	305

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



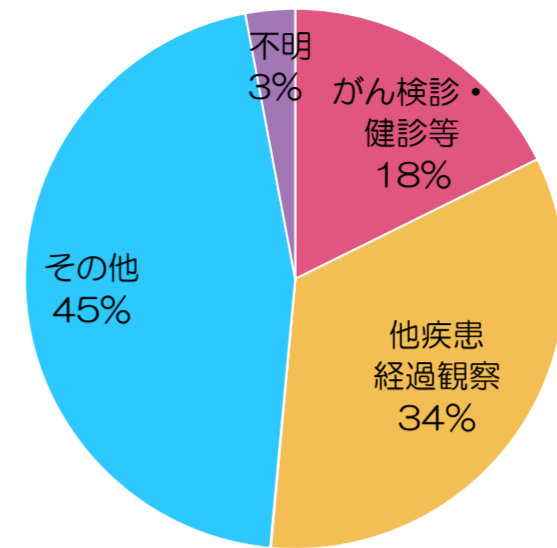
来院経路別登録割合（主要部位）



発見経緯別登録数 <2022年>

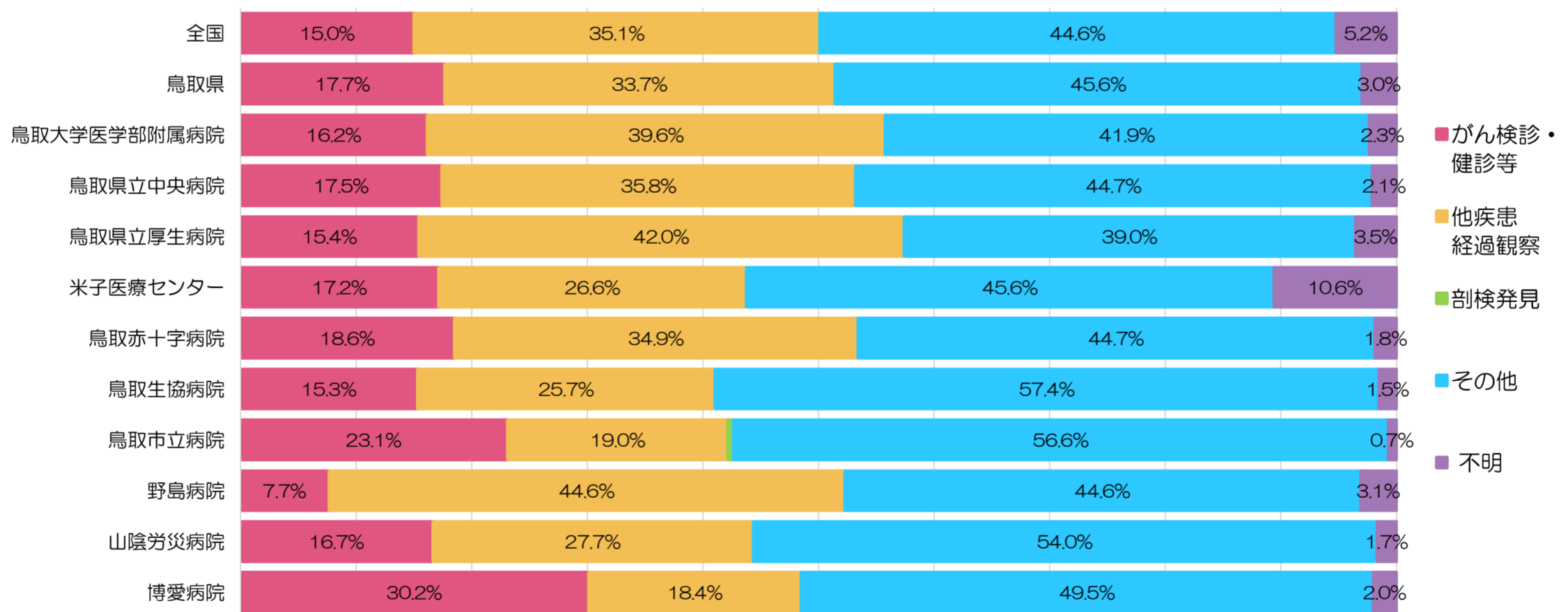
発見経緯別には、鳥取県全体で「他疾患経過観察」が33.7%で最も多く、「がん検診・健診等」は17.7%と少ない。
 なお、「その他」が45.6%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。
 全国比較では、「がん検診・健診等」は鳥取県が全国より約2.7%多く、施設別には博愛病院が30.2%と最も多い。
 部位別には、「がん検診・健診等」は子宮頸部、胃、乳房、大腸、前立腺の順で多く、「他疾患経過観察」は肝臓が約60.9%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）

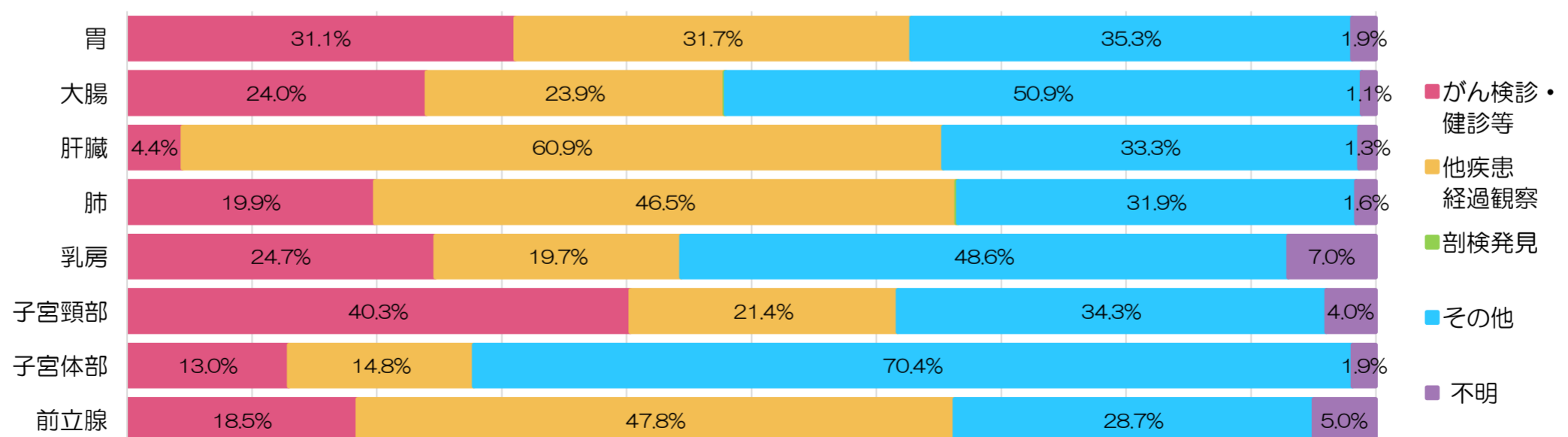


	がん検診・健診等	他疾患経過観察	剖検発見	その他	不明	合計
全国	161,580	377,115	31	479,371	56,021	1,074,118
鳥取県	1,273	2,427	(1-3)	3,277	213	7,193
鳥取大学医学部附属病院	339	830	-	877	49	2,095
鳥取県立中央病院	202	414	-	517	24	1,157
鳥取県立厚生病院	110	299	-	278	25	712
米子医療センター	122	189	-	324	75	710
鳥取赤十字病院	151	284	-	364	15	814
鳥取生協病院	31	52	-	116	(1-3)	202
鳥取市立病院	136	112	(1-3)	333	(4-6)	588
野島病院	10	58	-	58	(4-6)	130
山陰労災病院	80	133	-	259	(7-9)	480
博愛病院	92	56	-	151	(4-6)	305

発見経緯別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



発見経緯別登録割合（主要部位）

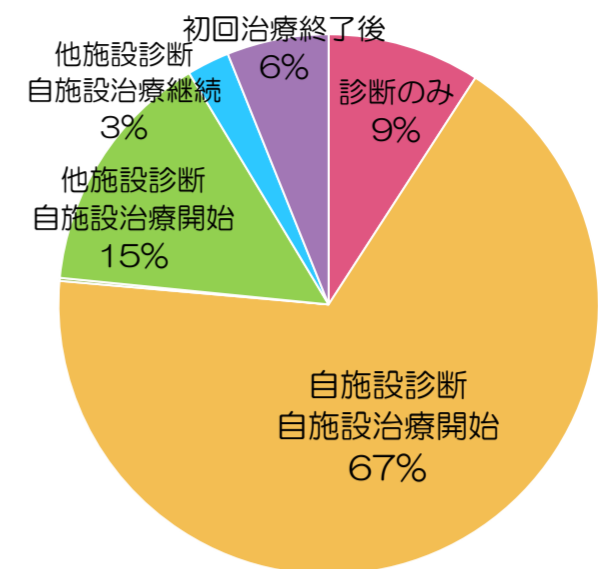


症例区分別登録数 <2022年>

症例区分別には、鳥取県全体で「診断のみ」は9.1%で、ほとんどは自施設で診断し、自施設で初回治療を行う「自施設診断自施設治療開始」（67.2%）であり、他施設で診断し、自施設で初回治療を行う「他施設診断自施設治療開始」は14.8%である。

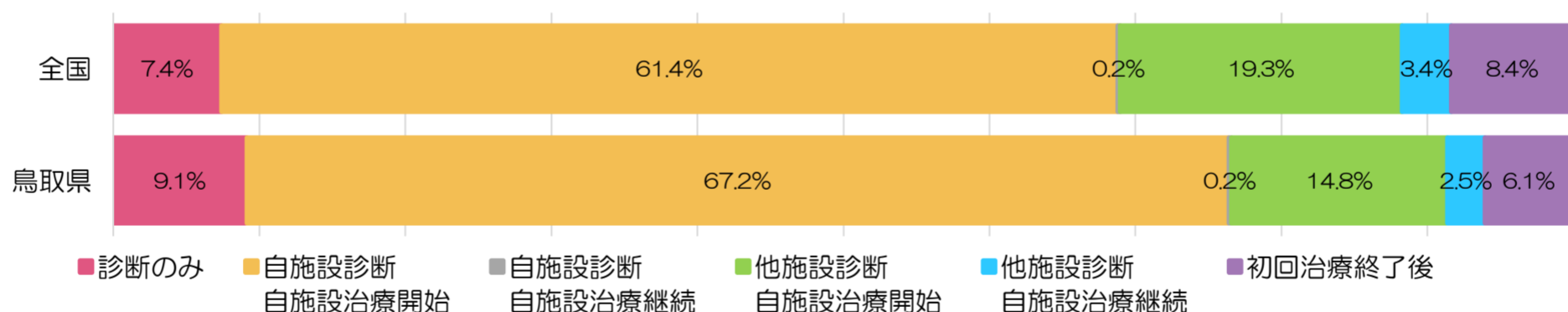
全国比較では、鳥取県は「診断のみ」と「自施設診断自施設治療開始」が多く、「他施設診断自施設治療開始・継続」と「初回治療終了後」の割合は少ない。施設別には、「診断のみ」は博愛病院、山陰労災病院など準拠点病院で高い。拠点病院では、特に鳥取大学医学部附属病院で「診断のみ」が2.8%で最も低く、「他施設診断自施設治療開始」は31.6%で最も高い。他方、「初回治療終了後」は、米子医療センターの19.2%が最も高く、次いで鳥取県立厚生病院の12.1%、鳥取生協病院の10.9%の順で高い。

症例区分別登録割合（鳥取県）

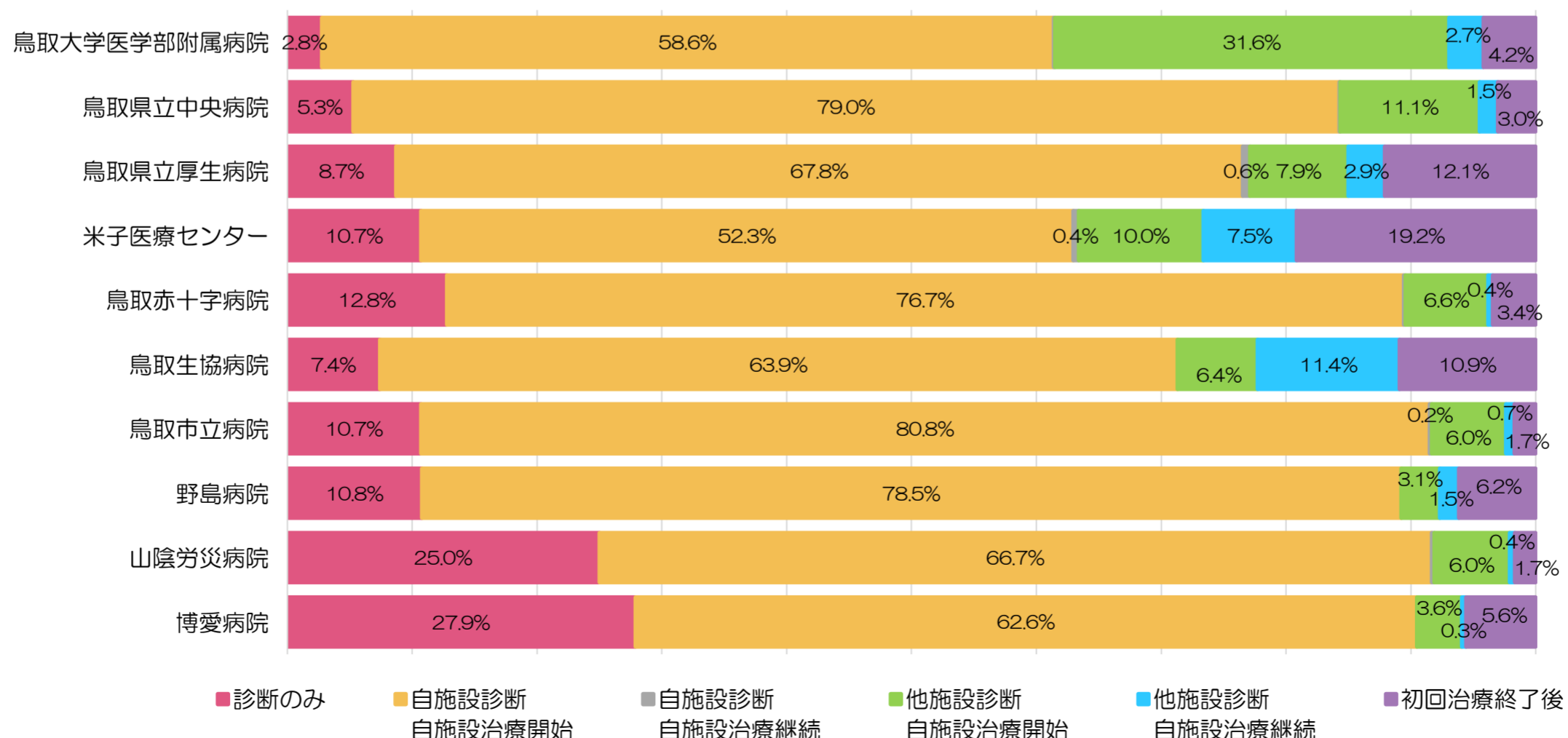


	診断のみ	自施設診断 自施設治療開始	自施設診断 自施設治療継続	他施設診断 自施設治療開始	他施設診断 自施設治療継続	初回治療終了後	合計
全国	79,524	659,148	1,964	207,323	36,324	89,835	1,074,118
鳥取県	658	4,837	13	1,064	183	438	7,193
鳥取大学医学部附属病院	58	1,228	(1-3)	662	57	88	2,095
鳥取県立中央病院	61	914	(1-3)	129	17	35	1,157
鳥取県立厚生病院	62	483	(4-6)	56	21	86	712
米子医療センター	76	371	(1-3)	71	53	136	710
鳥取赤十字病院	104	624	(1-3)	54	(1-3)	28	814
鳥取生協病院	15	129	-	13	23	22	202
鳥取市立病院	63	475	(1-3)	35	(4-6)	10	588
野島病院	14	102	-	(4-6)	(1-3)	(7-9)	130
山陰労災病院	120	320	(1-3)	29	(1-3)	(7-9)	480
博愛病院	85	191	-	11	(1-3)	17	305

症例区分別登録割合（全国・鳥取県）



症例区分別登録割合（施設別）



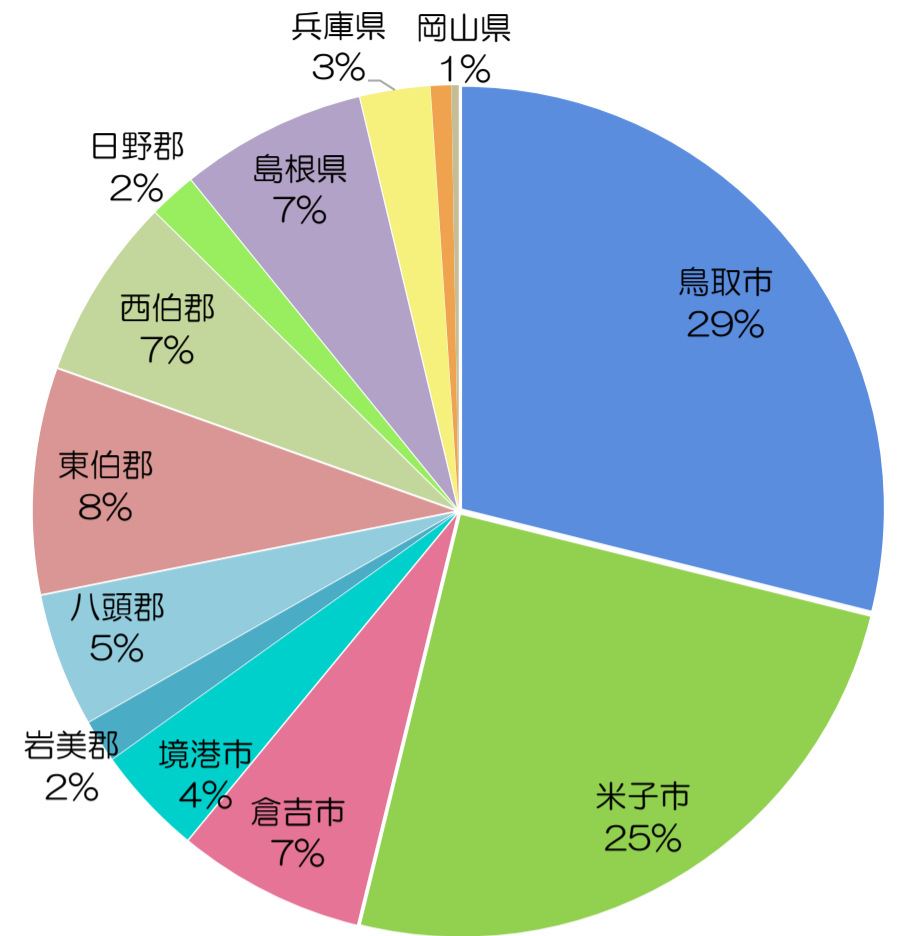
診断時住所別登録数 <2022年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く29%、次いで米子市の25%で、両市で半数の54%を占める。次いで東伯郡が8%、倉吉市の7%、西伯郡の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の1,154件、次いで鳥取赤十字病院の813件、鳥取生協病院の198件である。中部では、鳥取県立厚生病院の712件、野島病院の130件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の2,095件が最も多く、次いで米子医療センターの710件、山陰労災病院の478件、博愛病院の305件である。

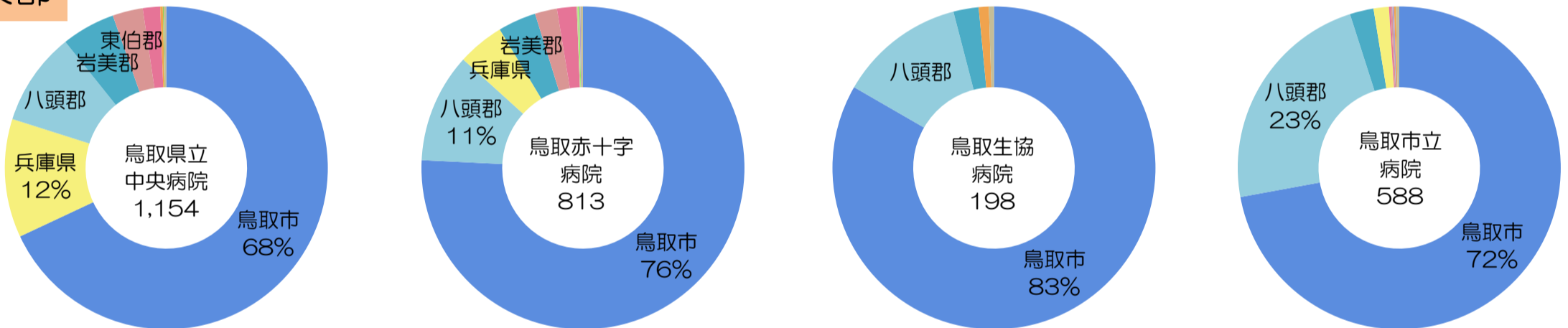
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であるが、島根県の21%をはじめとし、東伯郡、倉吉市、鳥取市など西部地域外からの患者がほぼ35%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

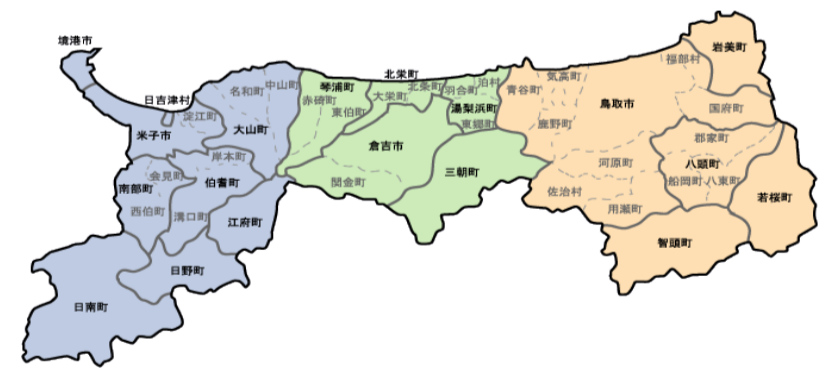
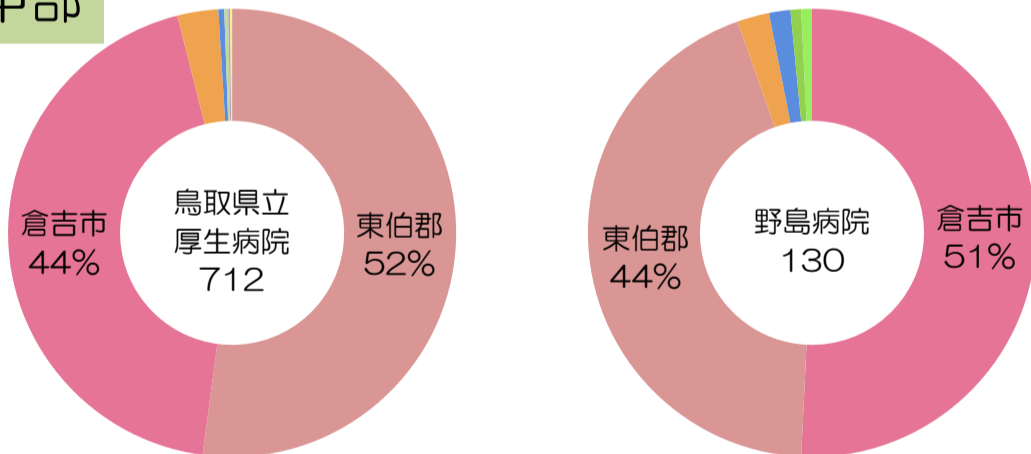


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
2,075	1,790	514	298	117	366	619	498	128	510	192	56	20	7,183

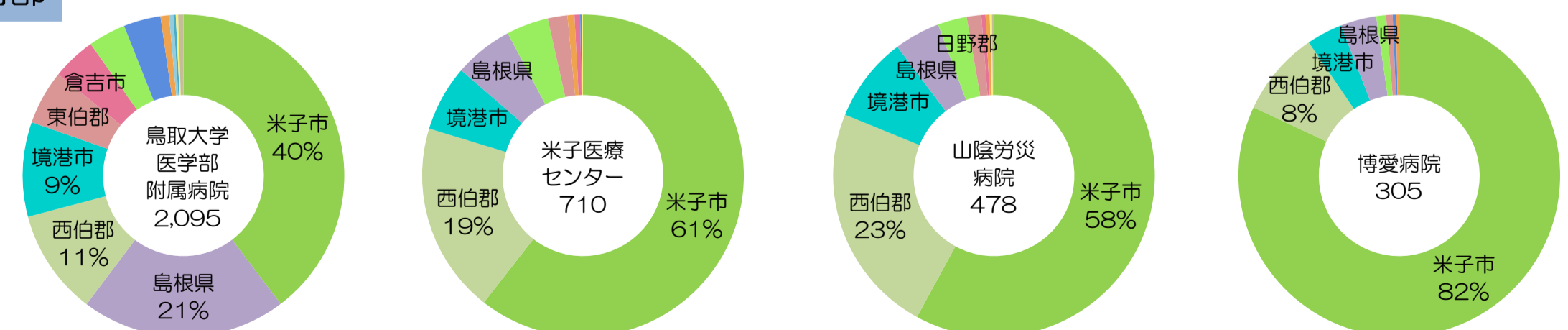
東部



中部



西部

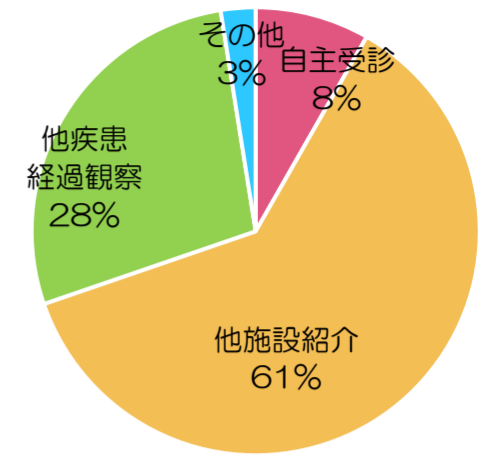


■ 鳥取市 ■ 米子市 ■ 倉吉市 ■ 境港市 ■ 岩美郡 ■ 八頭郡 ■ 東伯郡 ■ 西伯郡 ■ 日野郡 ■ 島根県 ■ 兵庫県 ■ 岡山県 ■ その他

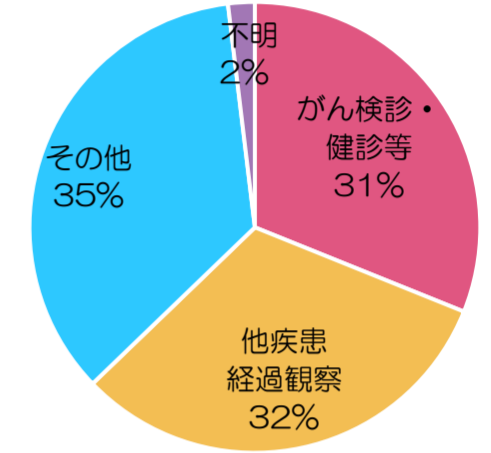
一胃 (2022)

胃がんは、男性571件、女性265件で総数は836件、男性が女性の約2.2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男性では65-74歳が、女性では75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、全国、鳥取県ともⅠ期が最も多く、その割合は6割を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期、Ⅲ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

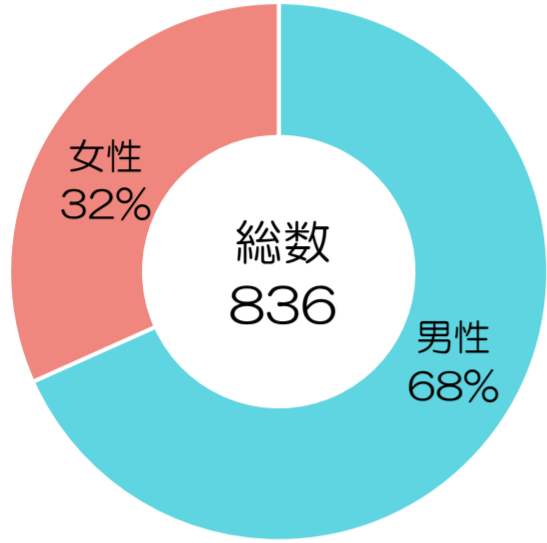
来院経路



発見経緯



男女比



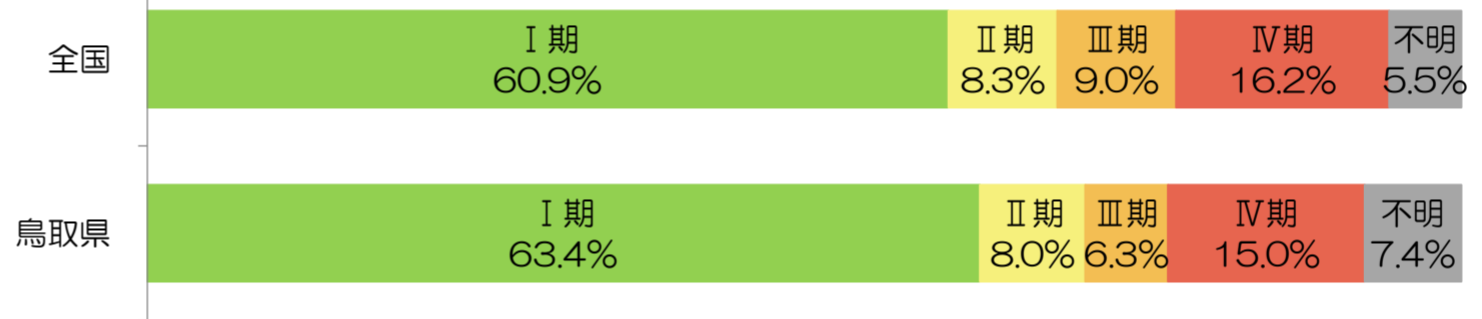
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

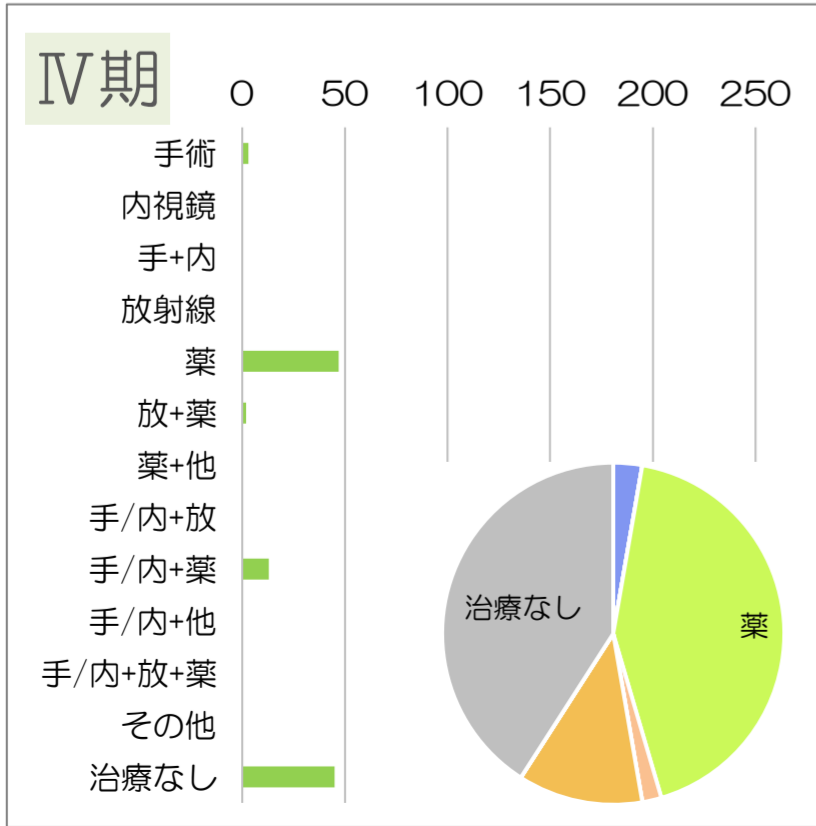
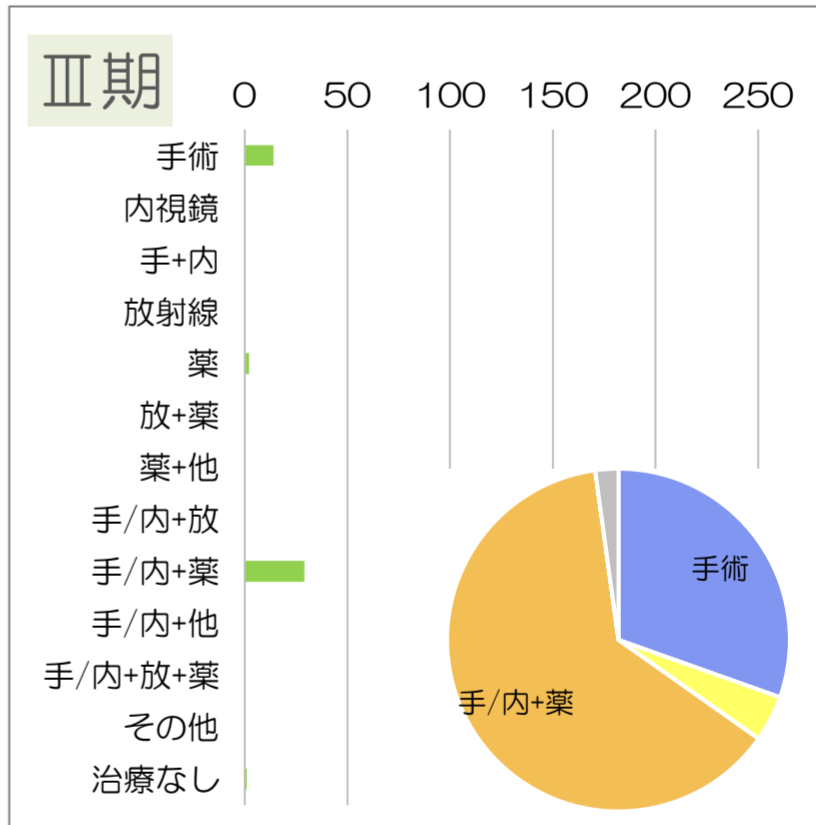
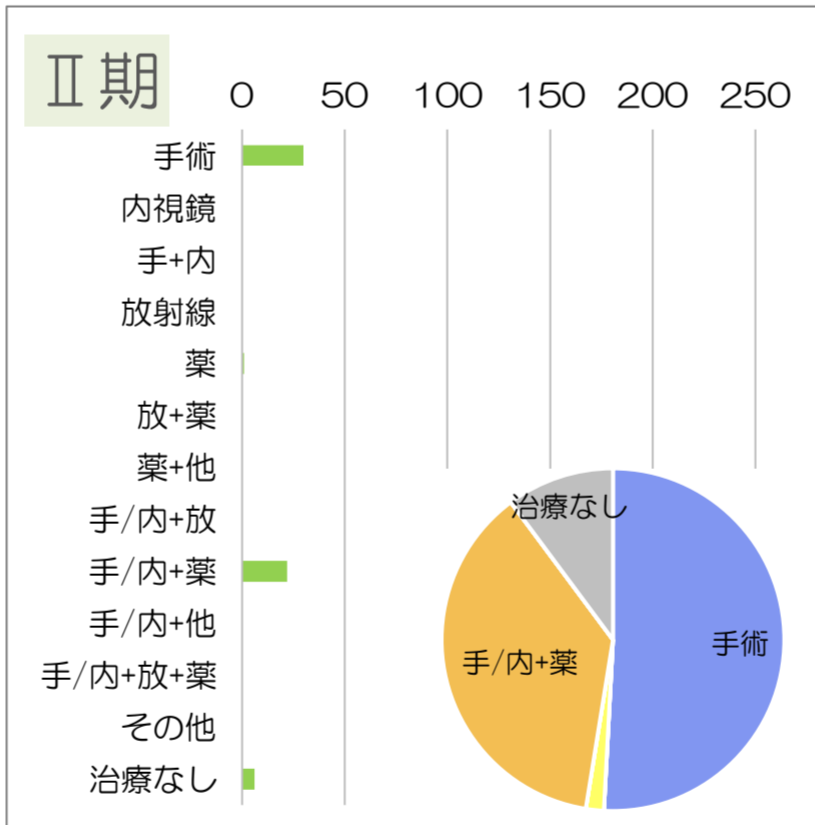
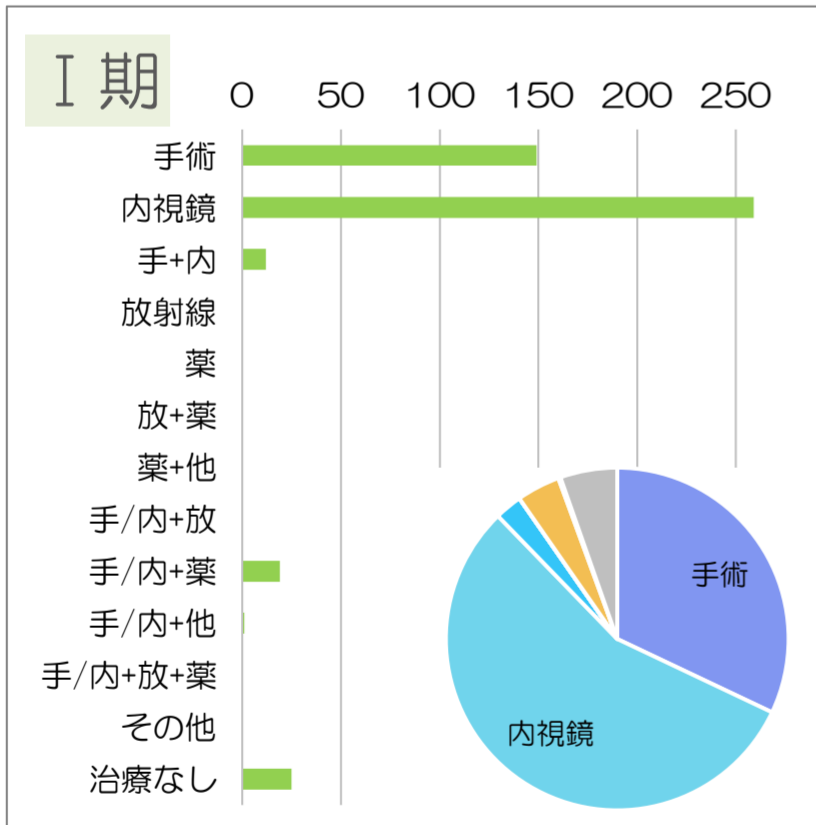
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
465	59	46	110	54	734

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

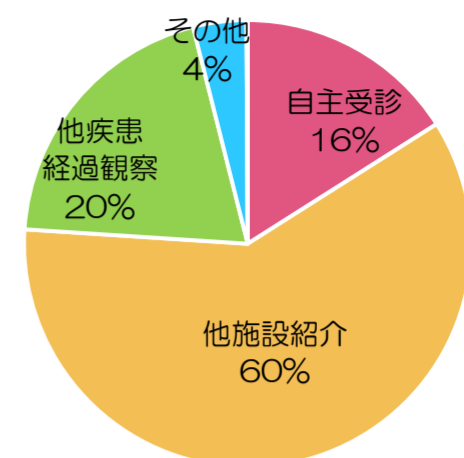
ステージ別治療方法



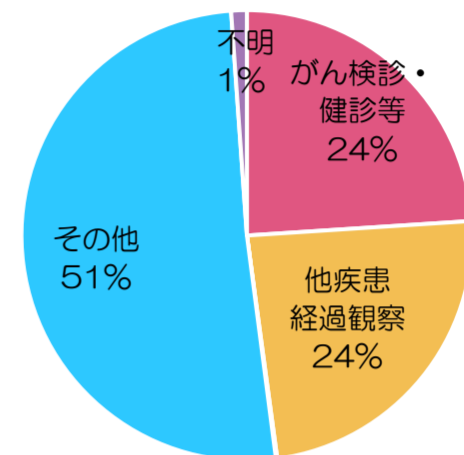
—大腸 (2022)—

大腸がんは、男性639件、女性429件で総数は1,068件、男性が女性の約1.5倍を示す。年齢階級別には、男性では65-74歳、女性では65-74歳と75-84歳が同数で最も多く、65歳以上では8割弱を占める。ステージ別には、全国、鳥取県ともにⅢ期が最も多い。0期は全国が13.2%、鳥取県が7.0%と最も少ない。ステージ別の治療方法は、0期では「内視鏡」、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期、Ⅲ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」が大半を占める。Ⅳ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めている。

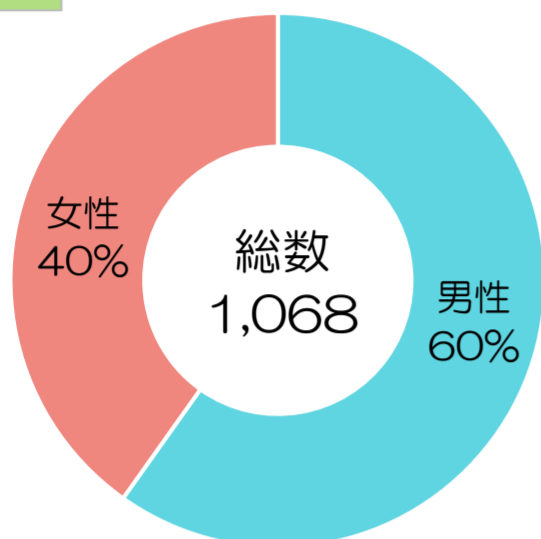
来院経路



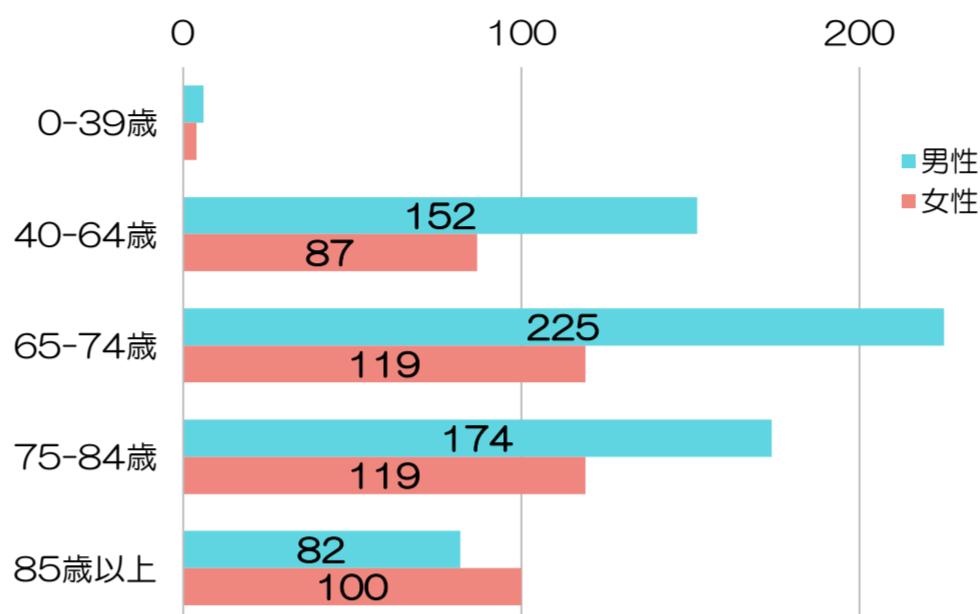
発見経緯



男女比



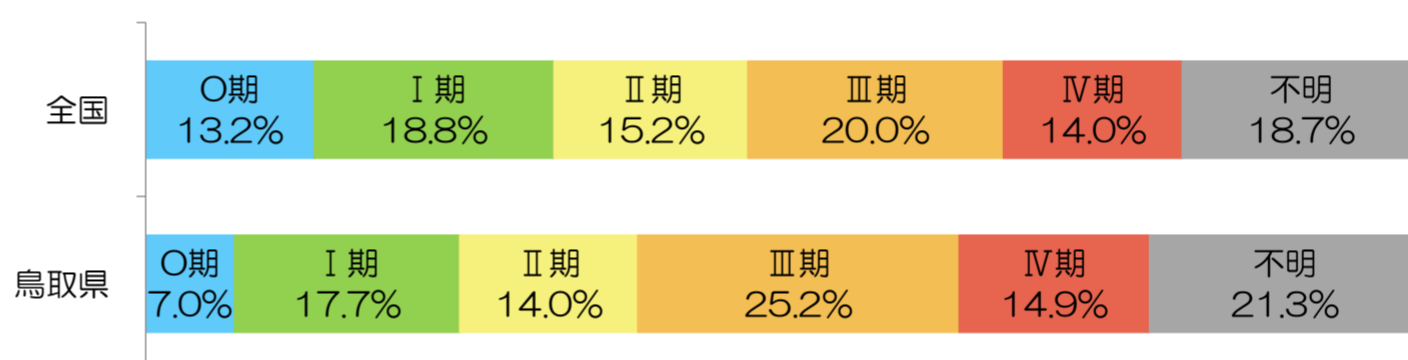
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

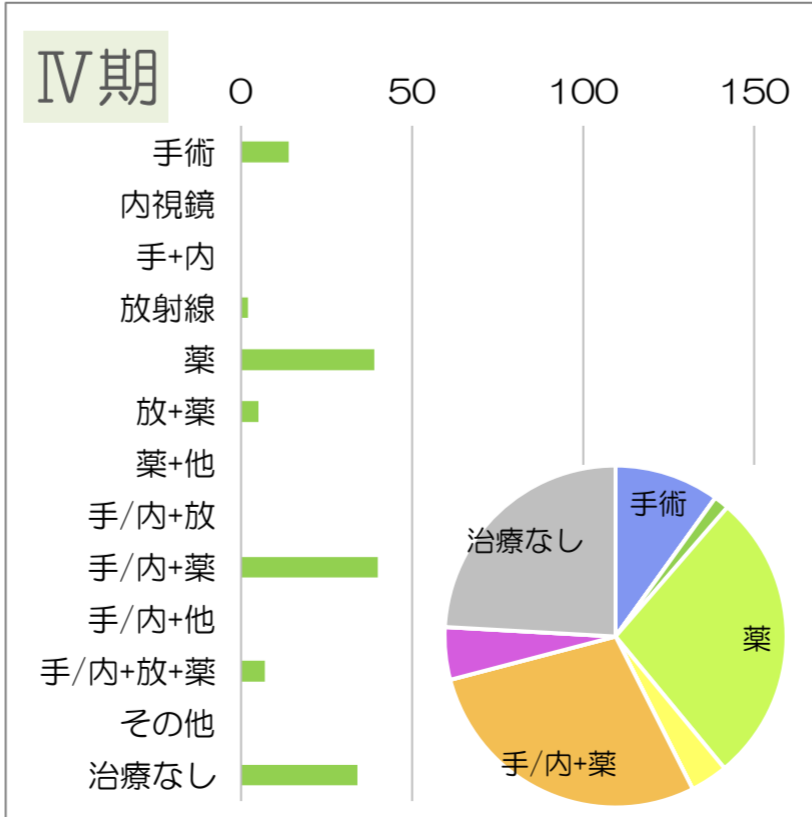
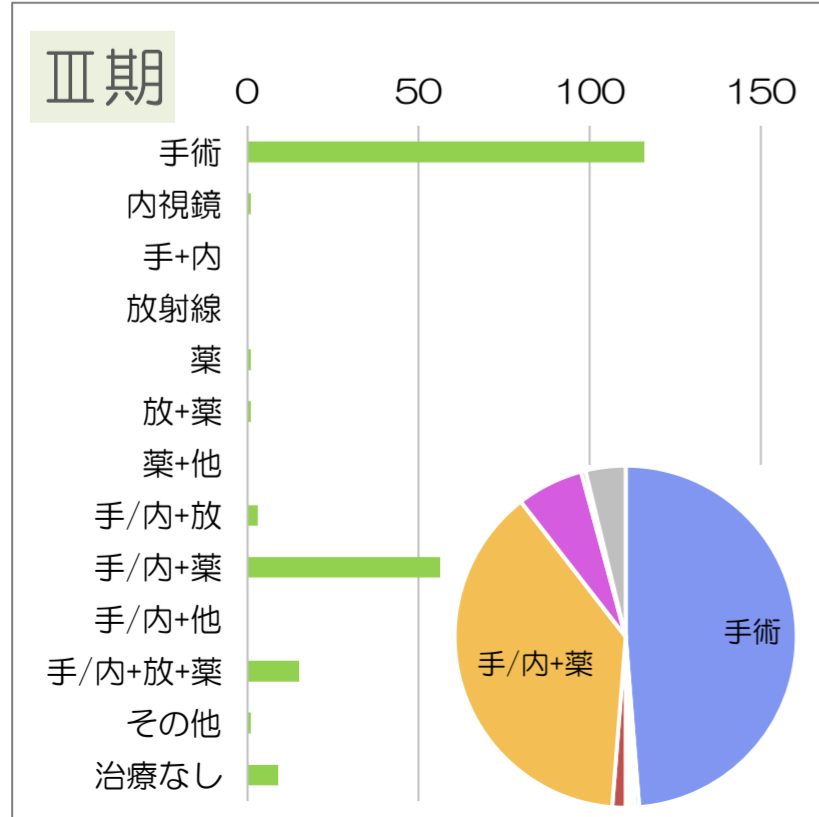
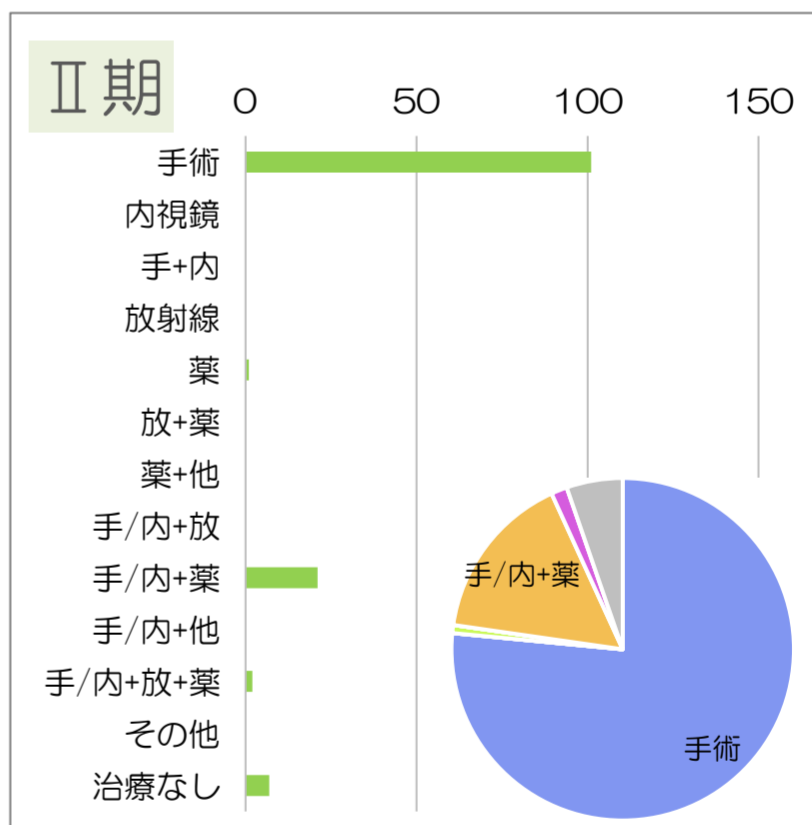
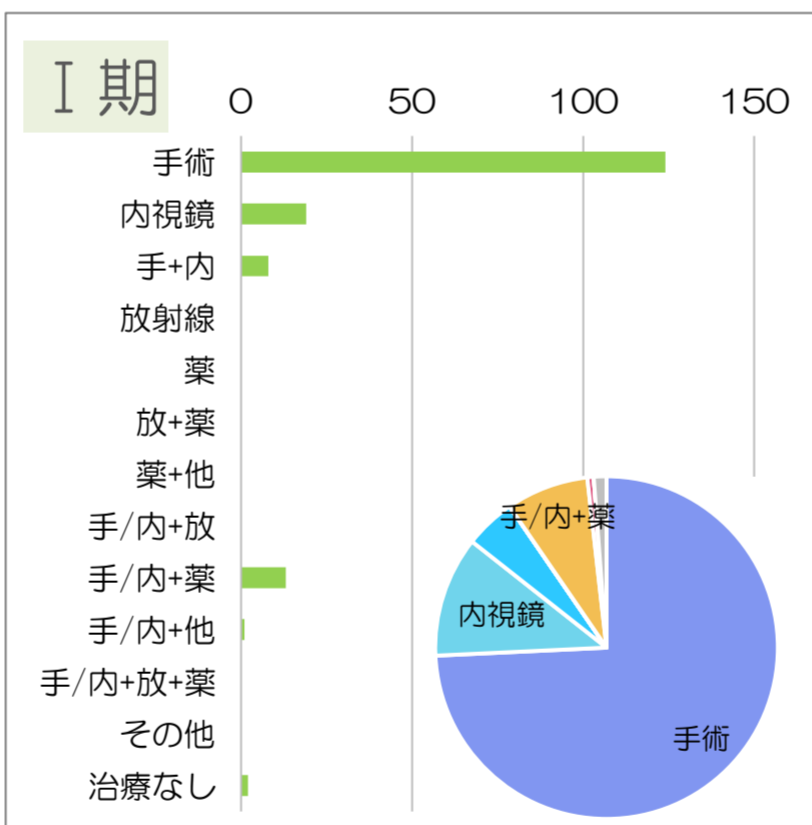
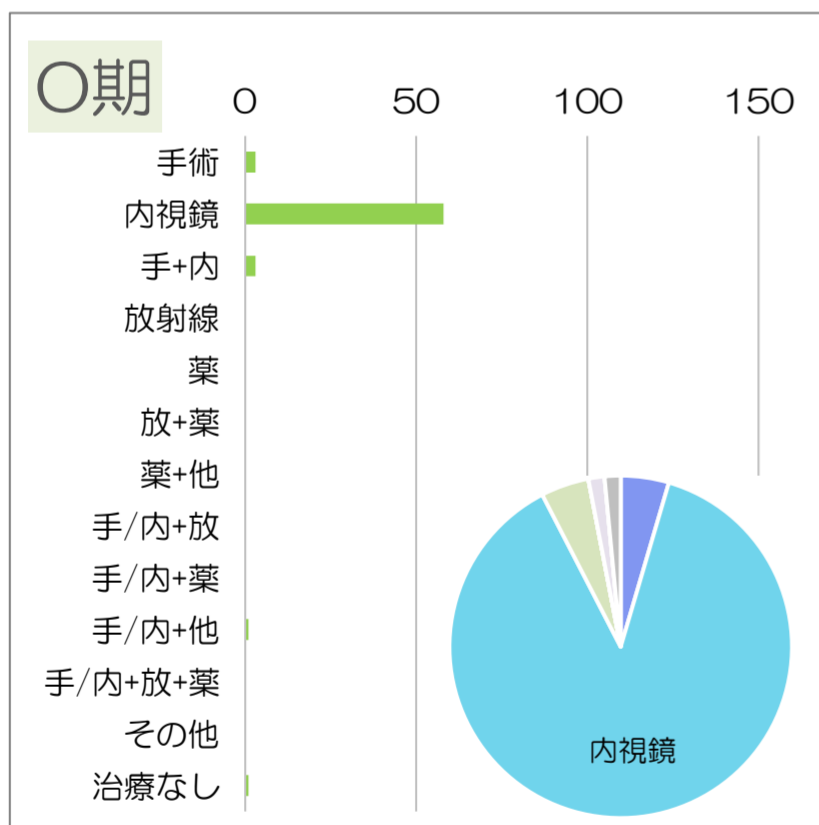
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
66	167	132	238	141	201	945

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

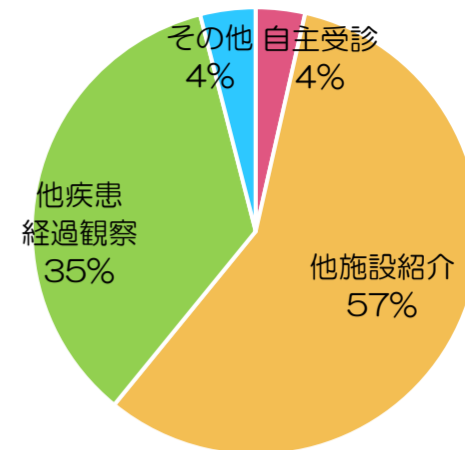
ステージ別治療方法



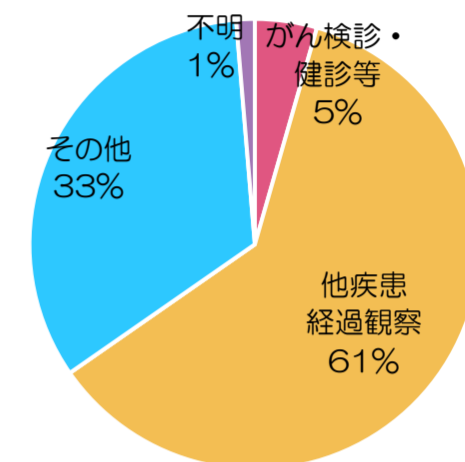
—肝臓 (2022)—

肝臓がんは、男性168件、女性57件で総数は225件、男性が女性の約3倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男性、女性ともに75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、次いでⅣ期、Ⅱ期、Ⅲ期の順。Ⅰ期とⅣ期は全国よりも鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期、Ⅱ期では「手術」、「薬物療法+その他」、Ⅲ期では「薬物療法」、「薬物療法+その他」、「治療なし」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めている。

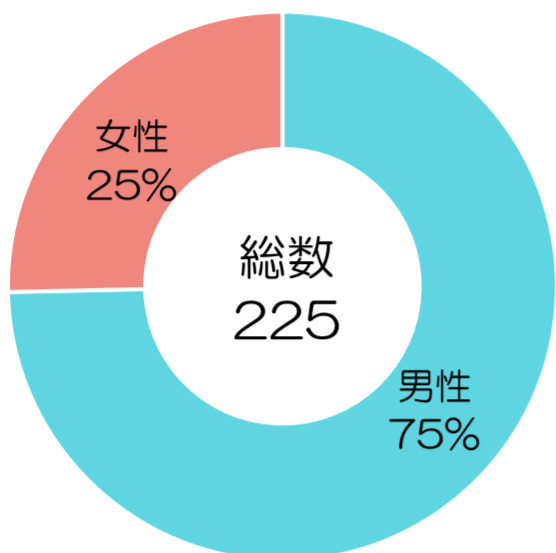
来院経路



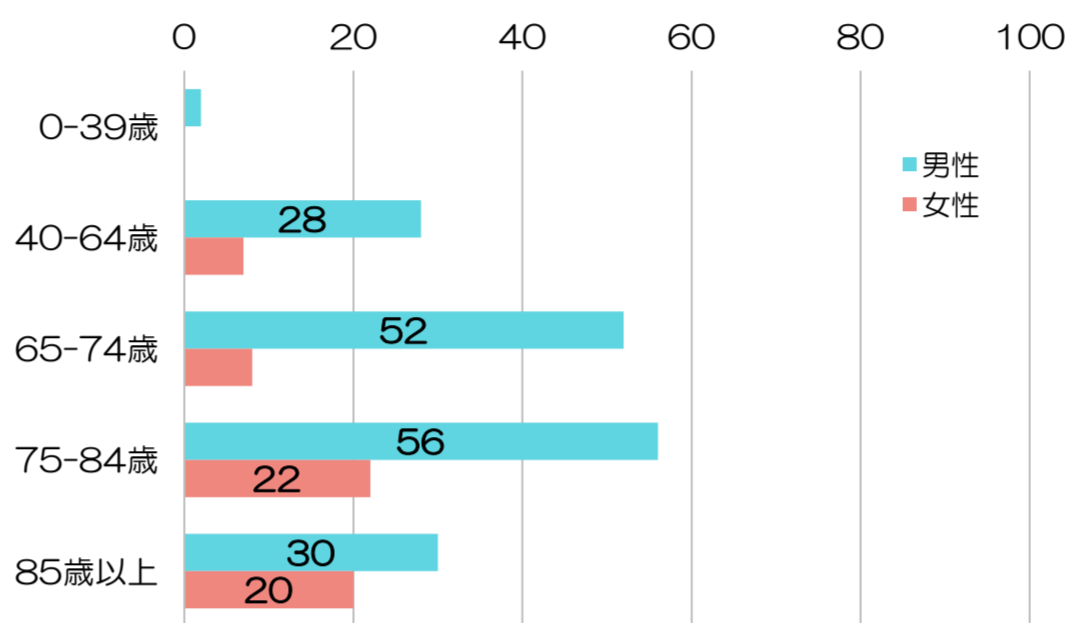
発見経緯



男女比



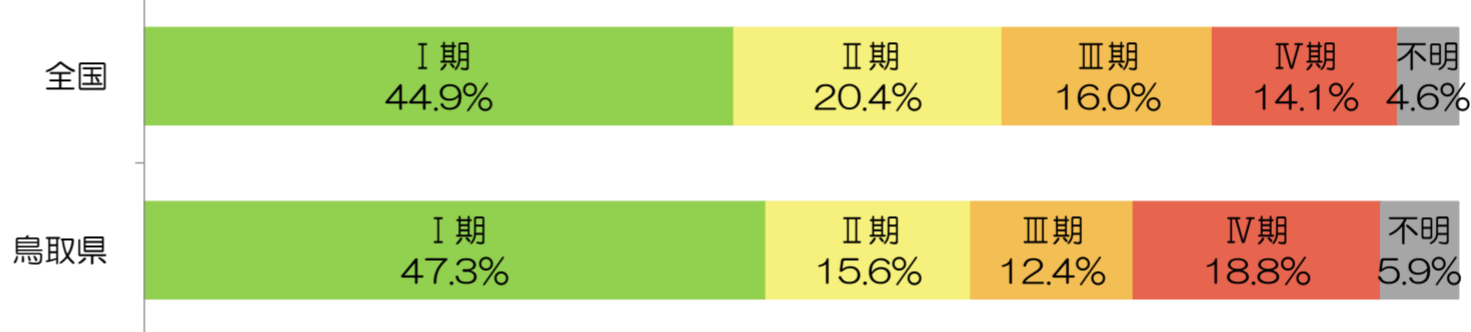
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
88	29	23	35	11	186

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

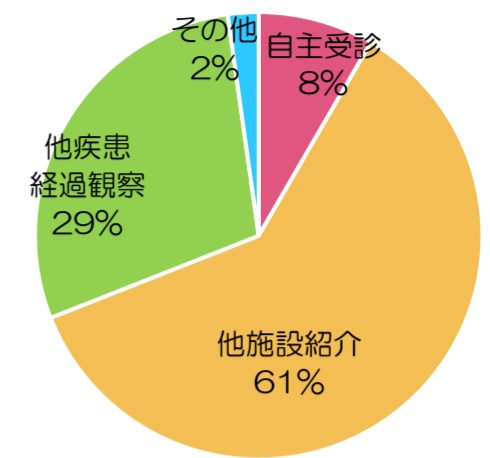
ステージ別治療方法



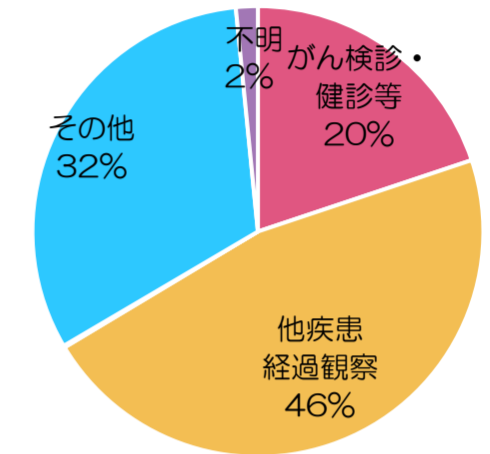
—肺 (2022)—

肺がんは、男性527件、女性238件で総数は765件、男性が女性の2.2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも85%を占め、65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、鳥取県ではⅠ期が40%、Ⅳ期が32.9%の順で多く、全国ともにⅠ期が最も多く40%を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「治療なし」、Ⅲ期では「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

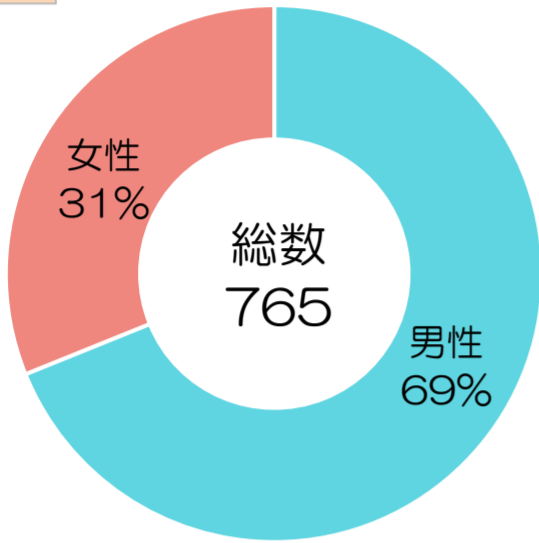
来院経路



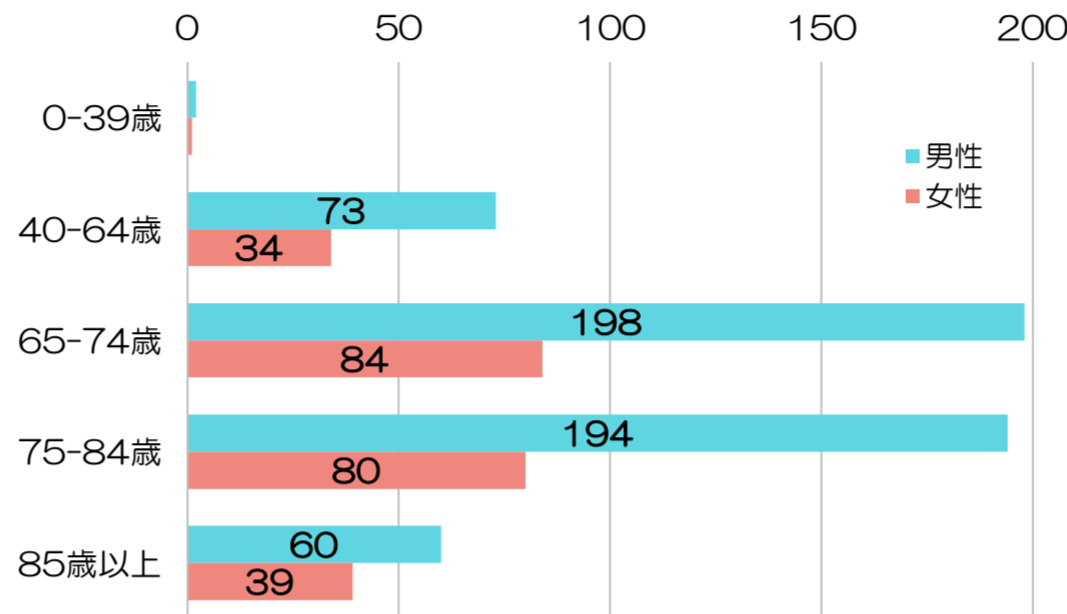
発見経緯



男女比



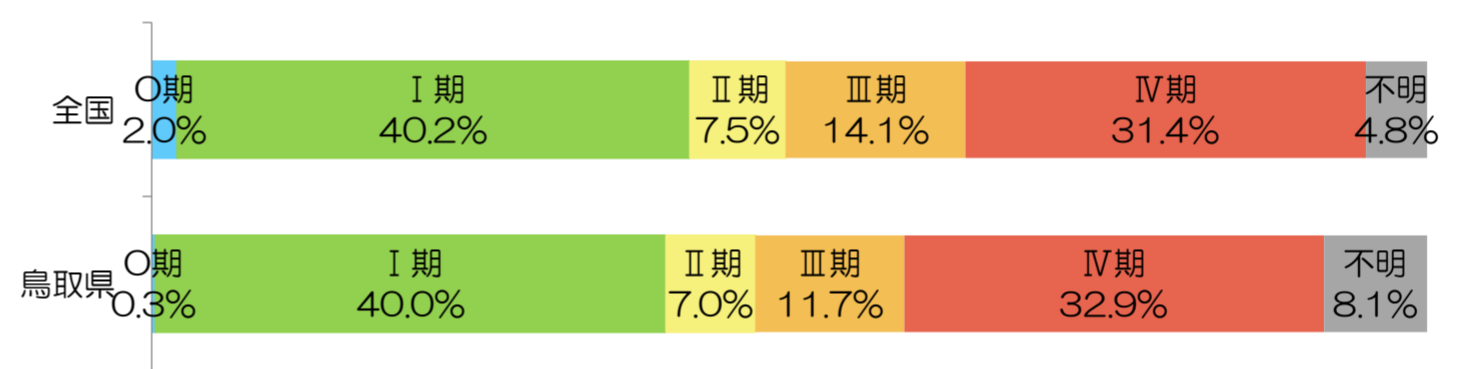
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

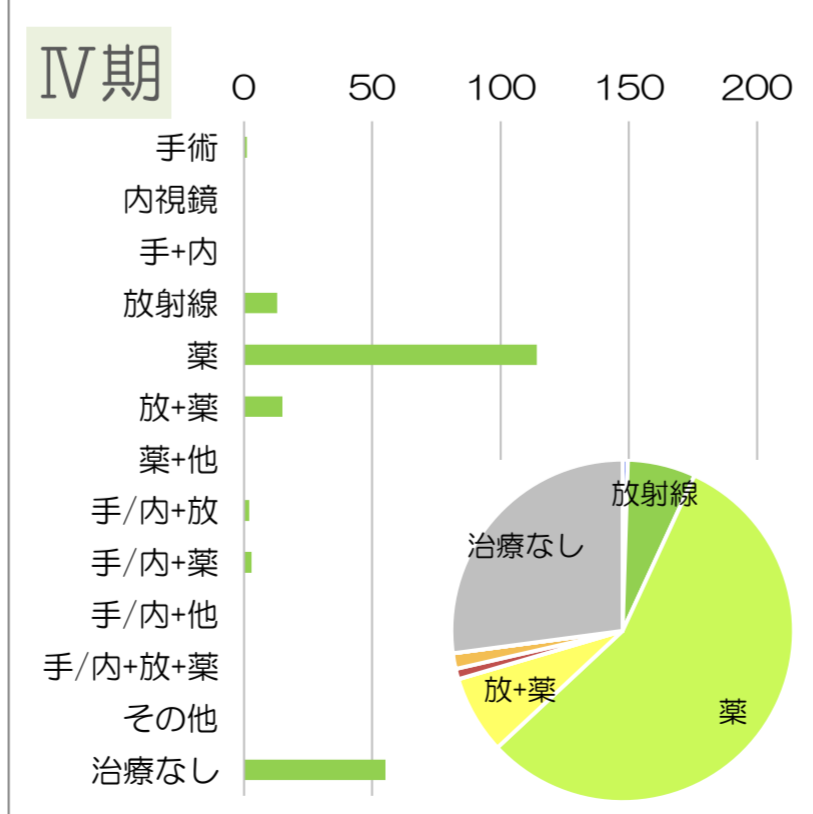
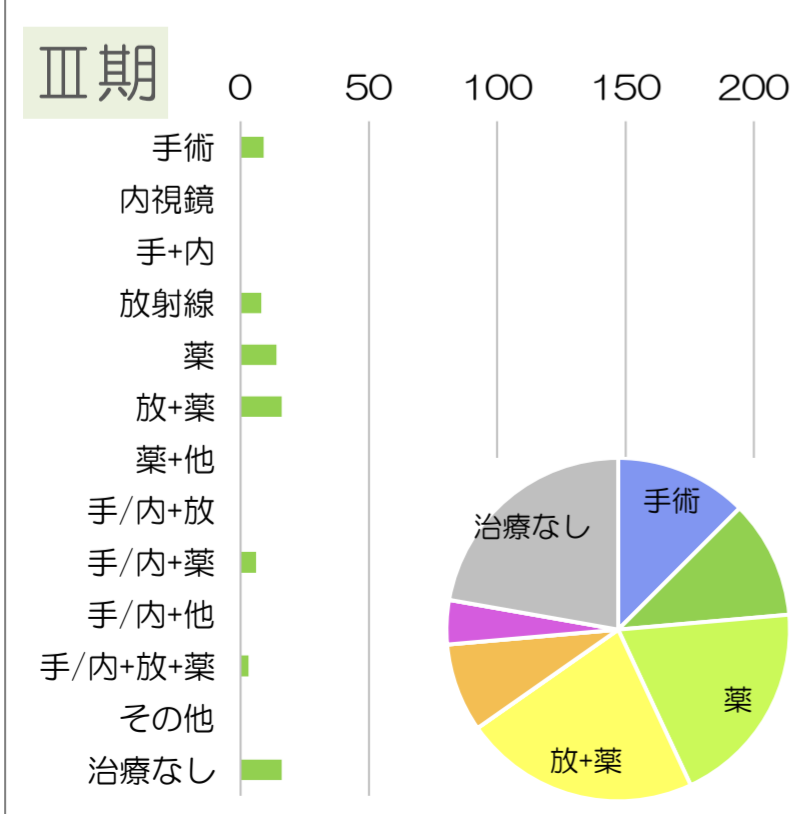
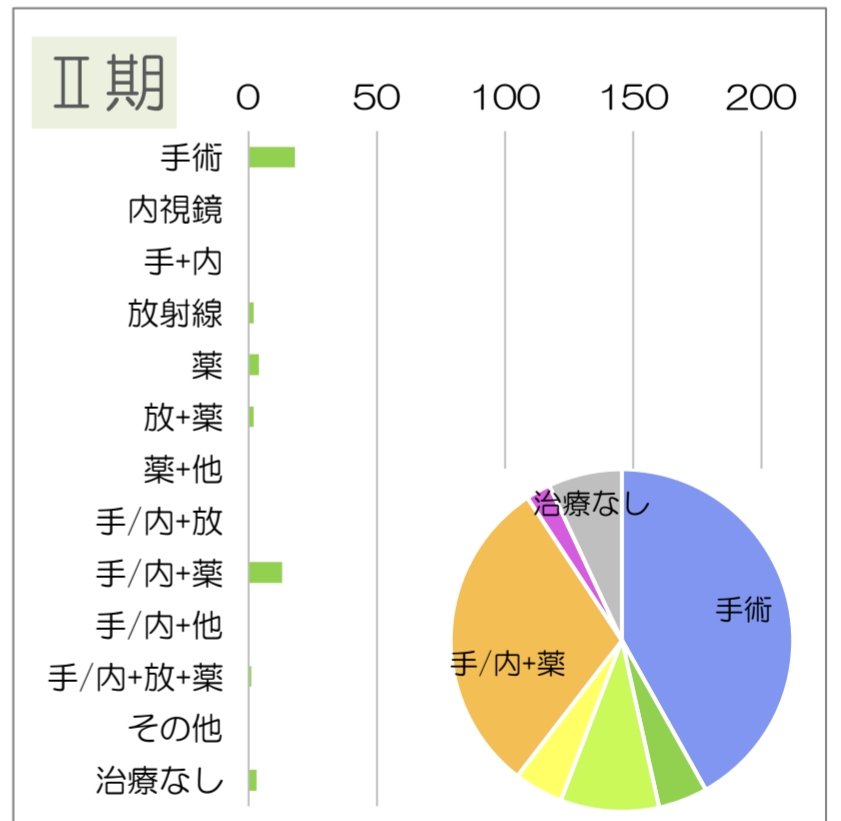
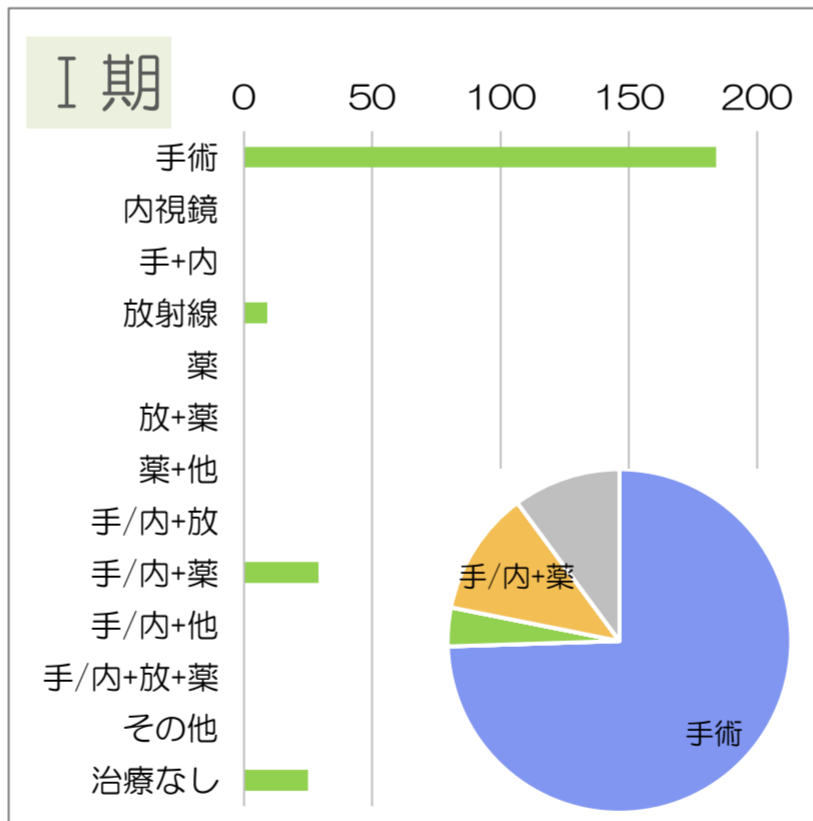
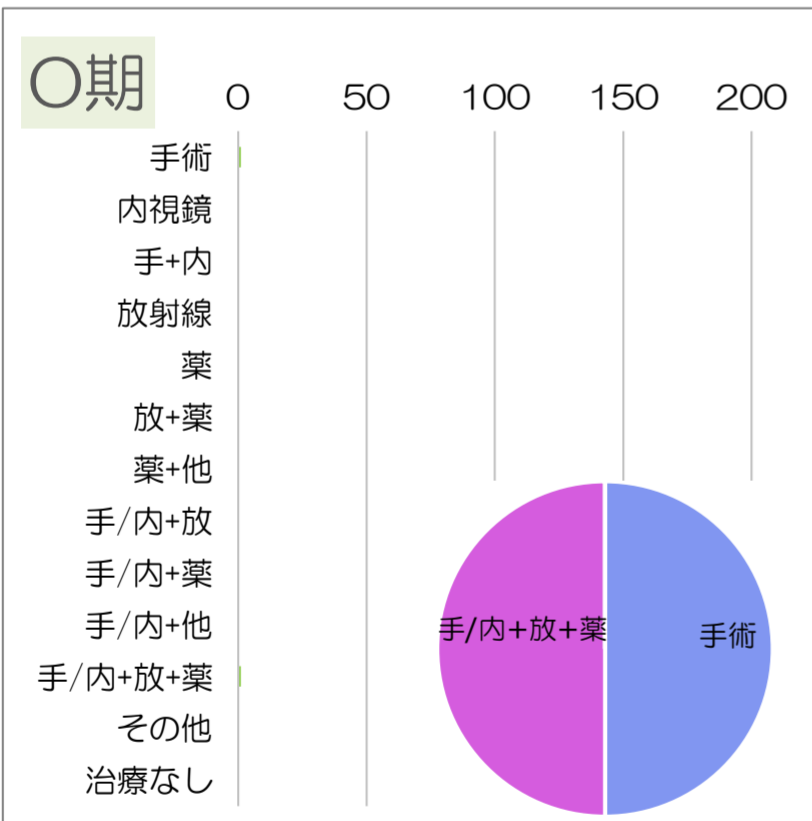
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(1-3)	247	43	72	203	50	617

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

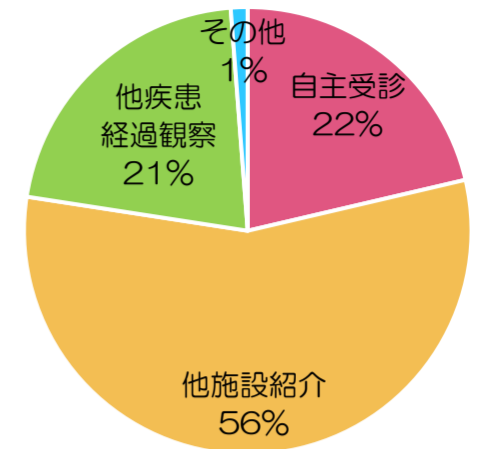
ステージ別治療方法



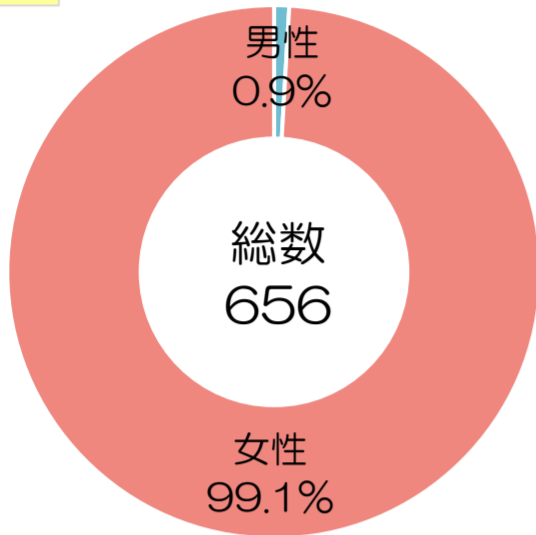
一乳房 (2022)

乳がんは、総数は656件、男性はわずかに0.9%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が47%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、鳥取県ではⅠ期が43.1%、Ⅱ期が31.6%の順に多く、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅳ期は全国よりも鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術/内視鏡+薬物療法」と「手術」、Ⅱ期、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」と「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が大半を占める。Ⅳ期では「薬物療法」が最も多く大半を占めている。

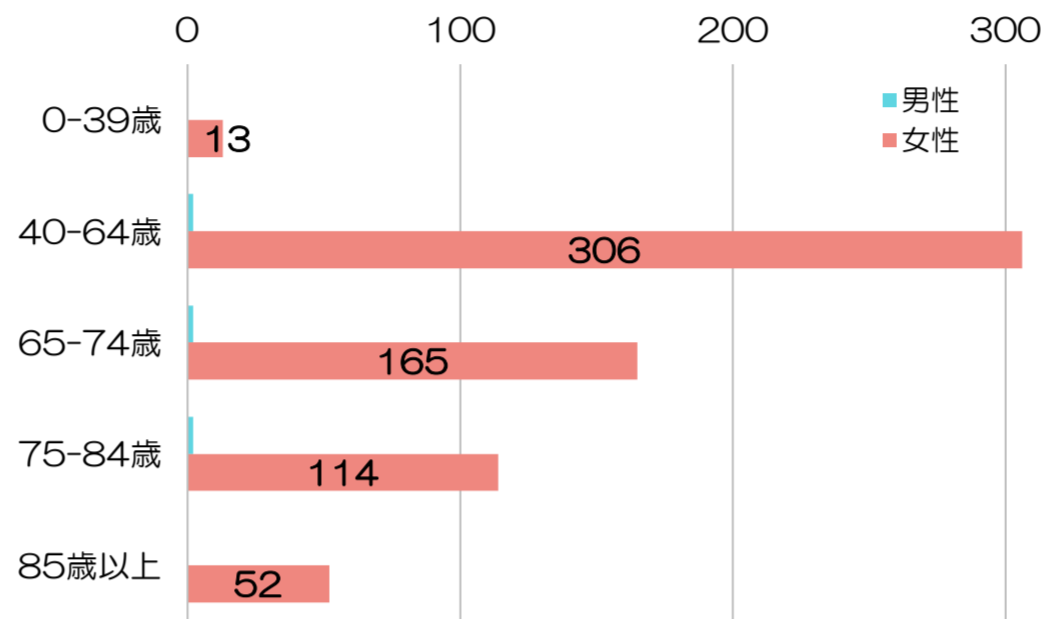
来院経路



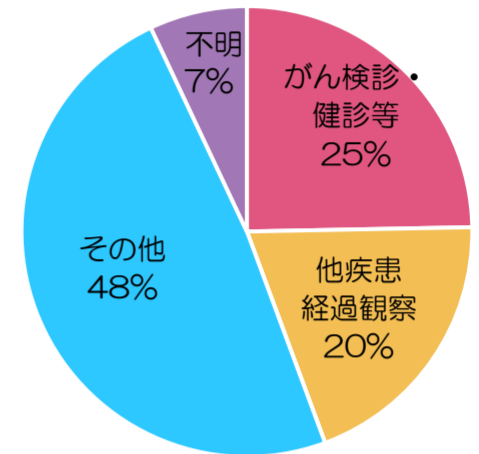
男女比



年齢別登録件数



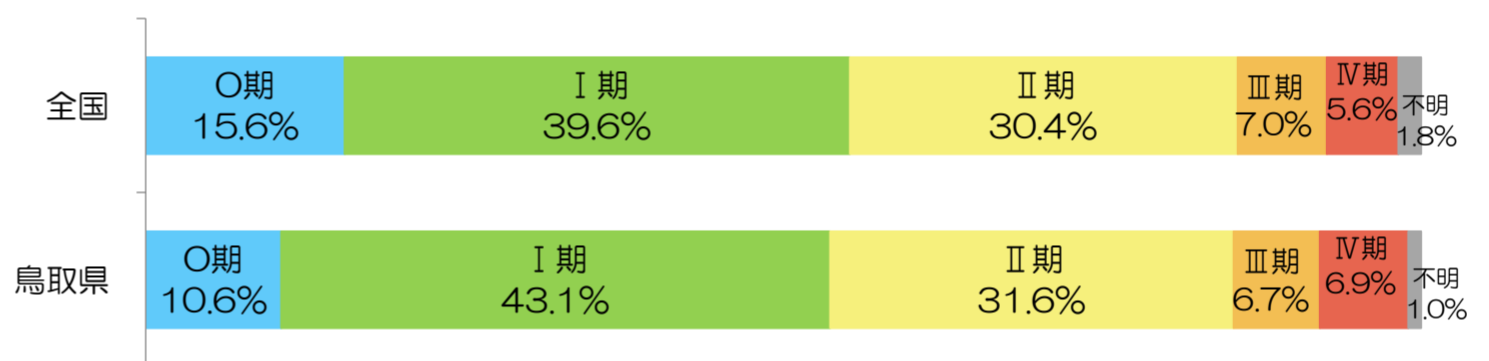
発見経緯



治療前ステージ別登録数

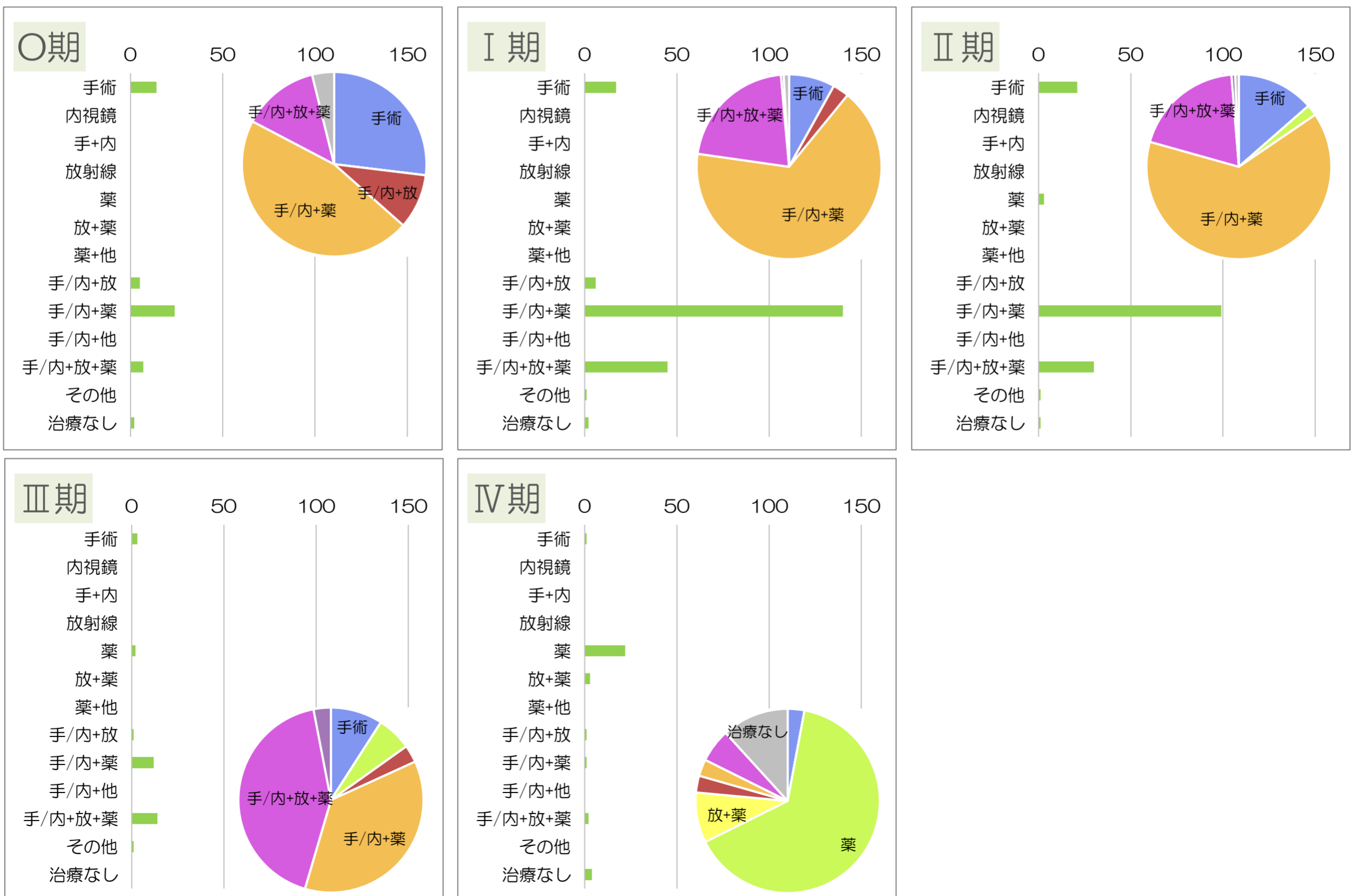
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
52	211	155	33	34	(4-6) 490

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

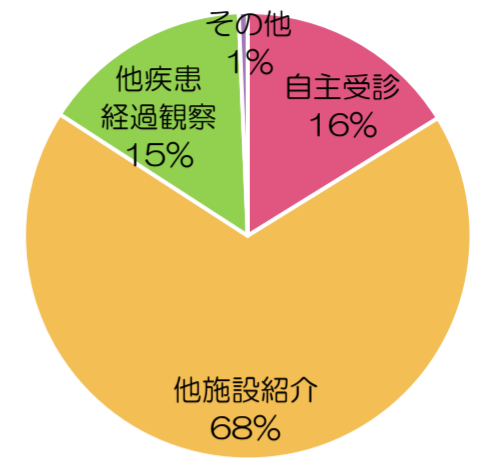
ステージ別治療方法



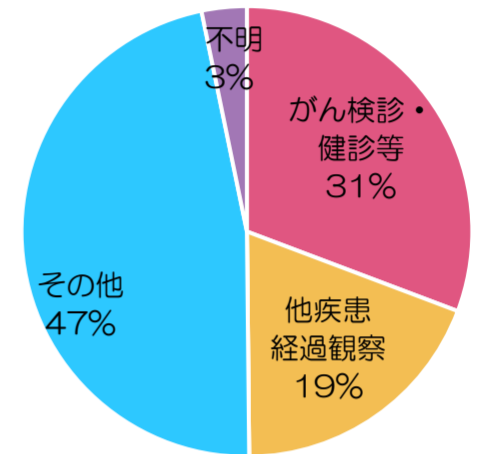
子宮 (2022)

子宮がんは、総数309件、年齢階級別には、40-64歳が167件の54%で最も多く、ほぼ半数以上を占めており、次いで40歳未満が54件の17.5%を示す。
 ステージ別には、子宮頸部では鳥取県が58.3%、全国が65.7%と0期がともに最も多く、子宮体部は鳥取県64.8%、全国71.4%とともにI期が最も多い。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術」がほとんどで、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「放射線+薬物療法」と「手術/内視鏡+薬物療法」の組み合わせで大半を占める。III期では「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」、さらに、IV期では「薬物療法」、「治療なし」が加わり多様となっている。

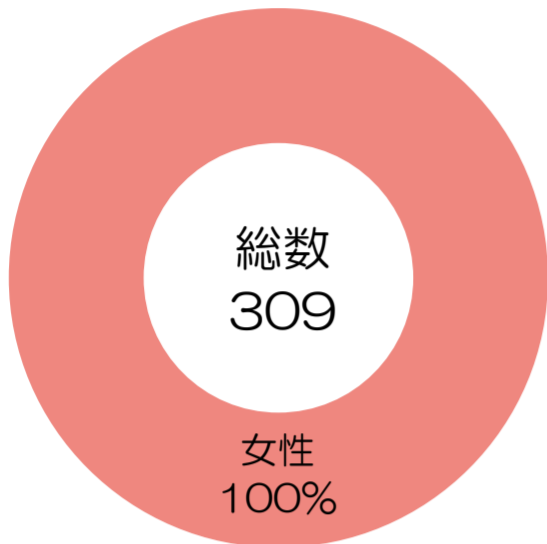
来院経路



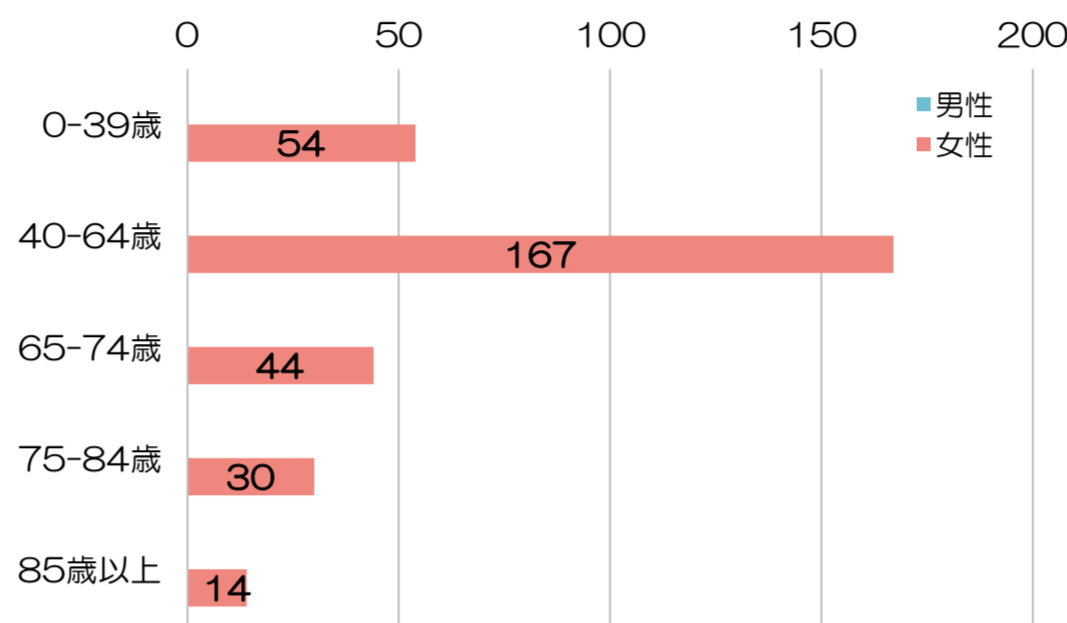
発見経緯



男女比



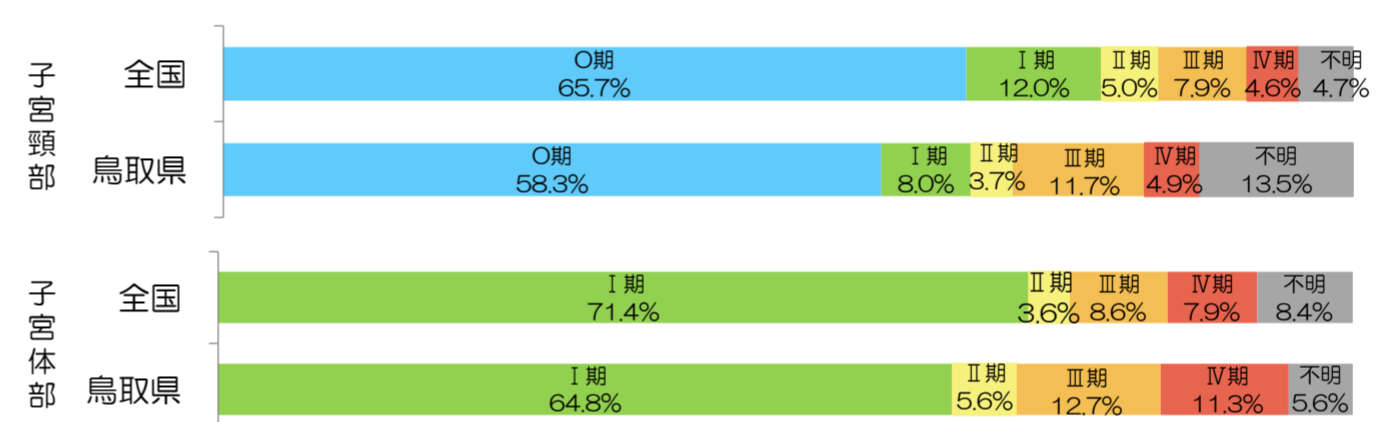
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

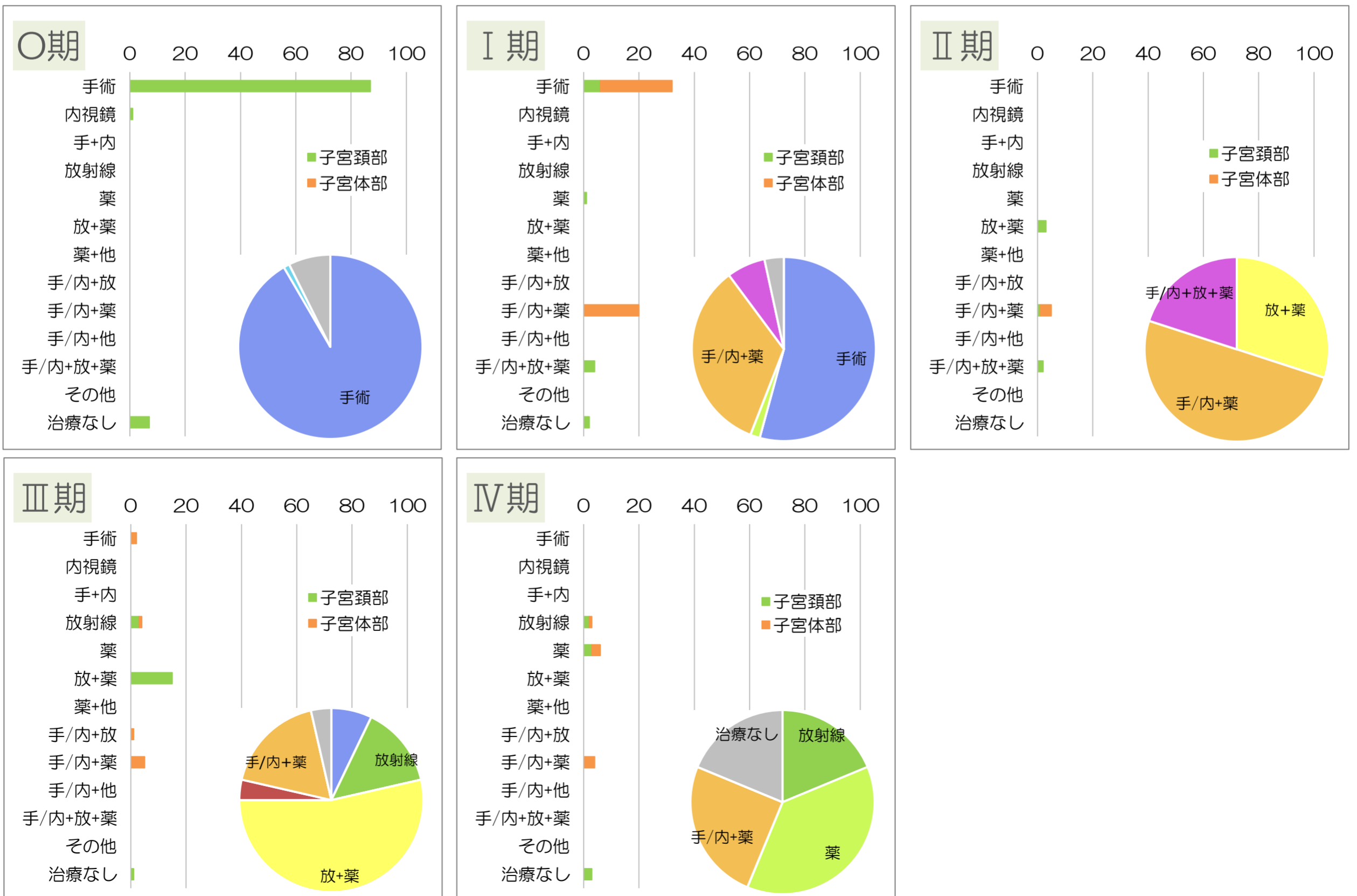
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	95	13	(4-6)	19	(7-9)	22	163
子宮体部	-	46	(4-6)	(7-9)	(7-9)	(4-6)	71

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

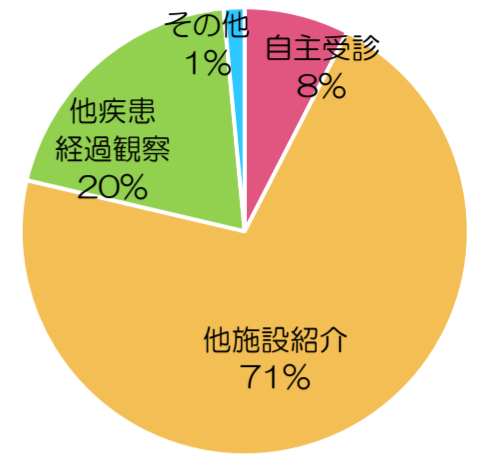
ステージ別治療方法



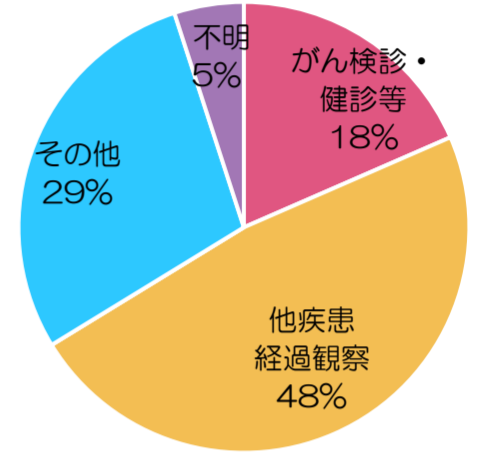
—前立腺 (2022)—

前立腺がんは、総数661件、年齢階級別には、65-74歳は270件と最も多く、40.8%を占め、65歳以上は89.2%を示す。
 ステージ別には、Ⅰ期で鳥取県が35.8%、全国が46.4%と最も多く、Ⅱ期はほぼ同じで、Ⅲ期、Ⅳ期は鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法」、「治療なし」、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり94.5%となり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」、「放射線+薬物療法」で95.5%を占める。

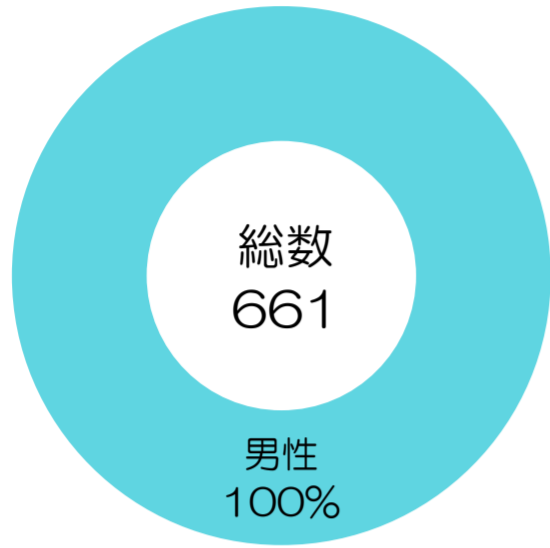
来院経路



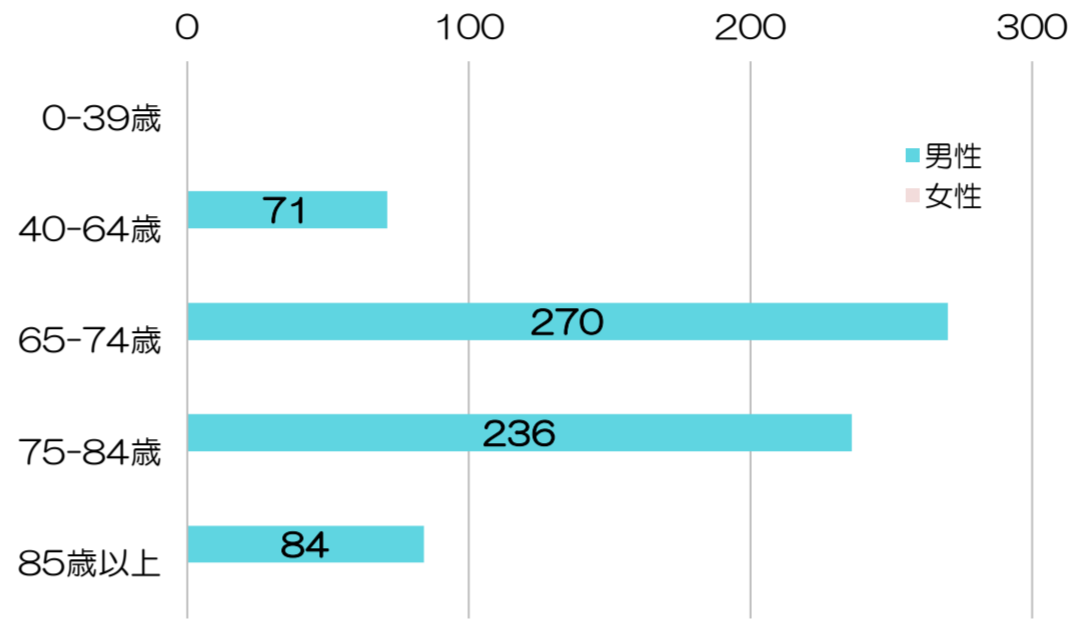
発見経緯



男女比



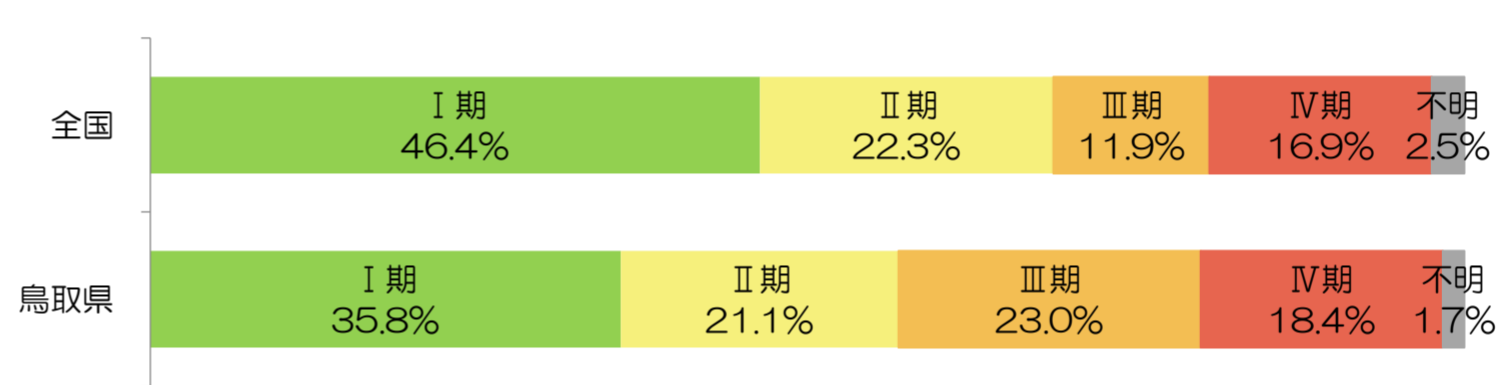
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
173	102	111	89	(7-9)	483

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

ステージ別治療方法

